勇者が死んだ！
2
THE LEGENDARY HERO IS DEAD!
スバルイチ
SUBARUICHI
村人の俺が

スバルイチ

THE LEGENDARY HERO IS DEAD!
SUBARUICHI

勇者が死んだ！

村人の俺が
掘った落とし穴に
勇者が落ちた結果。

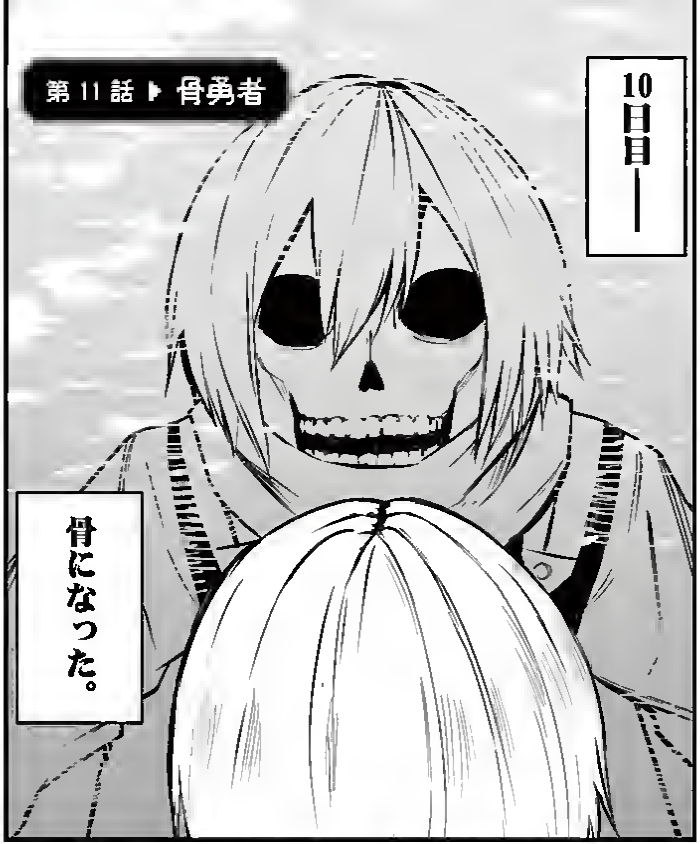
2

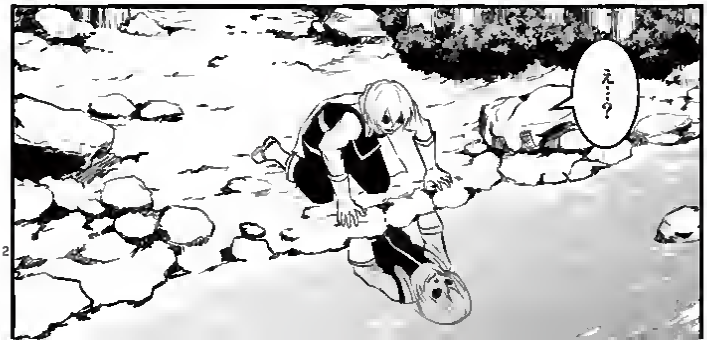
勇者が死んだ！
▶もくじ

第11話　骨勇者 ―― 5
第12話　婚約 ―― 23
第13話　おやつ ―― 37
第14話　魔漏症 ―― 51
第15話　侍医 ―― 67
第16話　救い ―― 83
第17話　勇者は死んだ。 ―― 99
第18話　ニセモノ ―― 117
第19話　棚上げ力 ―― 133
第20話　花嫁 ―― 149
第21話　地下墓地 ―― 165
第22話　体液 ―― 181

「ゾンビになった男の日記」

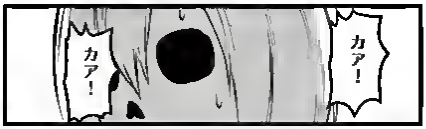
第11話 ▶ 骨勇者


第11話▶骨勇者
10日目――
骨になった。

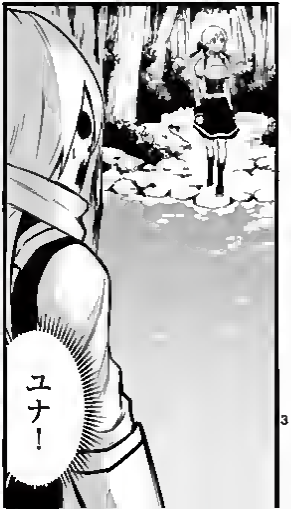

え…？

食われとる…！
カア！
カア！

ちょっと待て！
骨になるの早すぎだろ！
普通、半年くらいかかるもんじゃねーの!?


カア！
カア！

嘘だろ！
どうすんだよコレ！
こんなの先、ずっとこのままなんてシャレになってねーぞ！
トウカ～！いるの～？


ユナ！
そうだ！
…誰もいないうちに水浴びしちゃおっと！

声が聞こえた気がしたんだけど気のせいみたいね。
アンリちゃんと朝ご飯でも探しに行ってるのかな？

ククク……
こいつはいいぜ
服を脱ぎゃあ
ただの白骨死体…
つまり、特等席で
のぞき放題
我ながら人才的な
アイディアだぜ！
日が合った！
パカ
パカ
パカ
だが、いつもの
ユナの反応じゃない…！
パカ
こいつはバレてねーぞ！

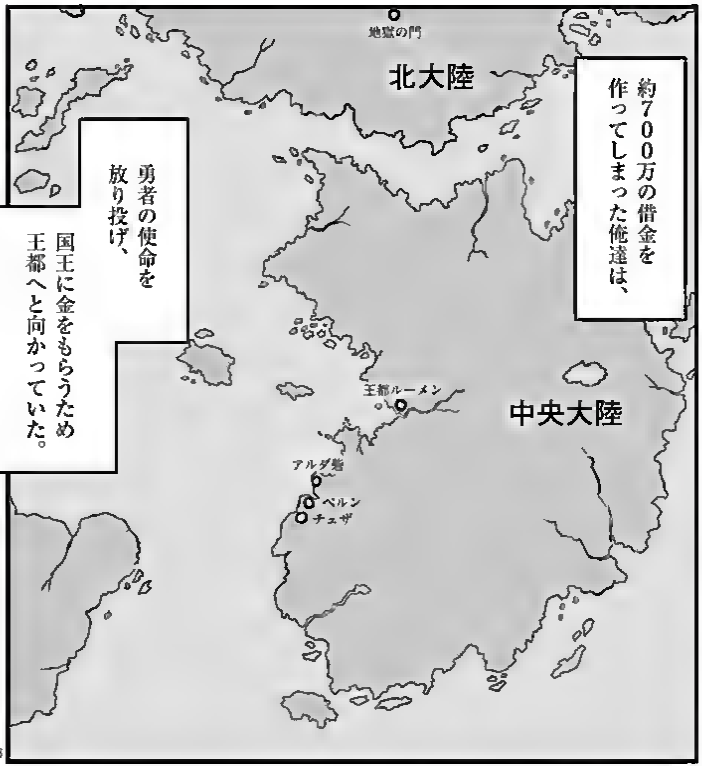
ザザア

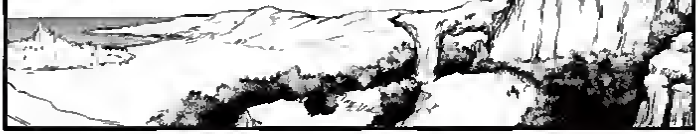
ザザア

ザザア

オオオ
覗いてたから埋めてるの。
気づいてたのかよ！
ユナ殿、なぜトウカ殿を埋めておるのだ？
むむ！

聖剣の勇者として
地獄の門を封印する旅が
始まってから10日――

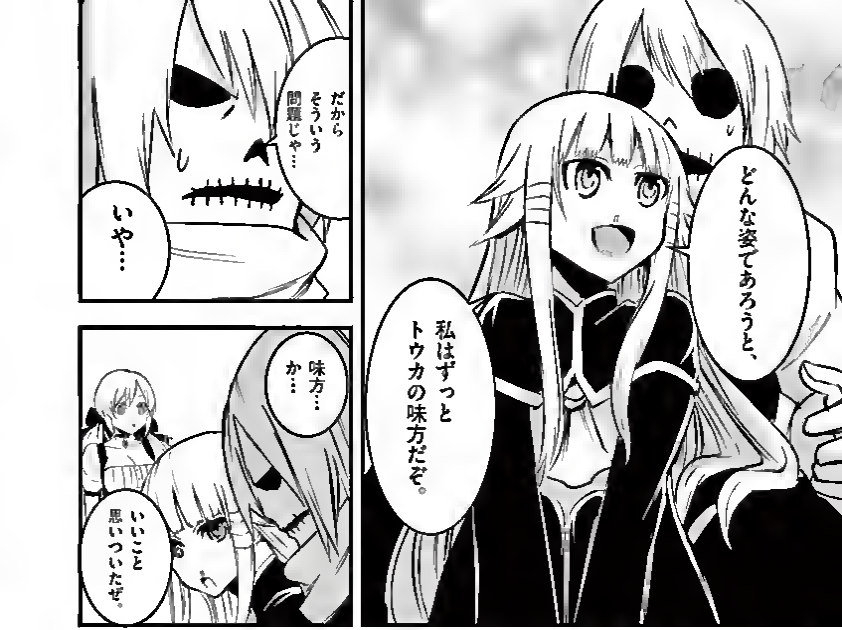

地獄の門
北大陸
約700万の借金を
作ってしまった俺達は、
勇者の使命を
放り投げ、
国王に金をもらうため
王都へと向かっていた。
王都ルーメン
中央大陸
アルダ砦
ベルン
チェザ
6

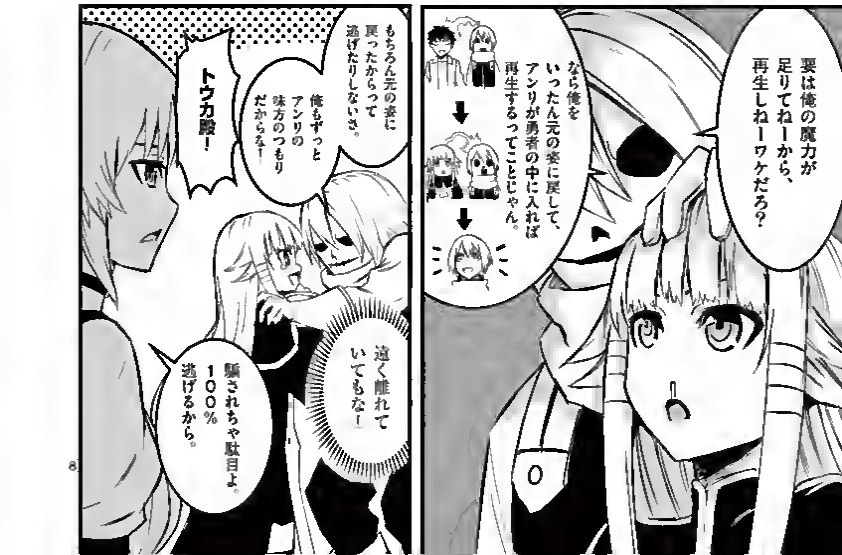


トウカが骨…
まだ勇者様の装だから許せてたのに…
これじゃあ存在価値ゼロじゃない…
そこまで言うかよ！

しかしこれ…マジでどうすんだよ…
こんな状態で旅続けられるのかよ…

骨になったところでたいした問題はない。
五感はもちろん、人間としてのすべての機能もそのままだ。
死体を覆うトウカ殿の霊体が、すべての役割を果たしてくれる。
そういう問題じゃねえ！
もうすぐ王都だぞ！
こんな姿で行ったら、国王に金もらう前にパニックになるじゃねーか！
心配ない。


どんな姿であろうと、
私はずっと
トウカの味方だぞ。
だから
そういう
問題じゃ…
いや…
味方…
か…
いいこと
思いついたぜ。


要は俺の魔力が
足りてねーから、
再生しねーワケだろ？
なら俺を
いったん元の姿に戻して、
アンリが勇者の中に入れば
再生するってことじゃん。
もちろん元の姿に
戻ったからって
逃げたりしないさ。
俺もずっと
アンリの
味方のつもり
だからな！
トウカ殿！
遠く離れて
いてもな！
騙されちゃ駄目よ。
100％
逃げるから。

トウカ殿…
すまない…

その提案は
どちらにしても
受け入れられない。

はあ!?

憑依屍術は
何度も繰り返すと
精神が劣化していく
危険性があるのだ。

魔力が低い者なら
なおさらだ。

!?

精神が劣化した疑いがもたれる人物の例

世界を救うためとはいえ、
トウカ殿が廃人になってしまうのは
耐えられない。

テメーは
そんな危険な魔術を
無断でかけたのかよ。

もう諦めて
国王様を殴るのは
やめたら?

お金なんて
地道に稼いでいけば
いいじゃない。

私は毎日
山菜でも
摘わんぞ。

ムシャ

クソ…
他人事だと思って…

!!

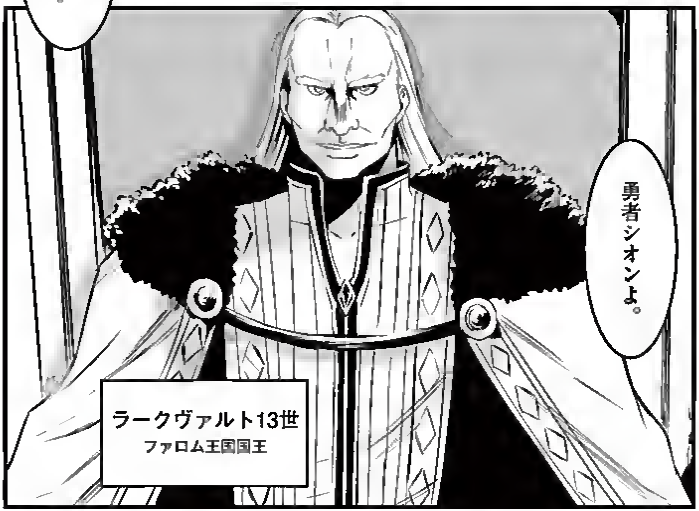
一つ…

方法があるぜ。

ファロム王国
王都ルーメン

勇者様!?
勇者様だ！
きゃあああああ！
素敵ー！
こっち
向いてー！

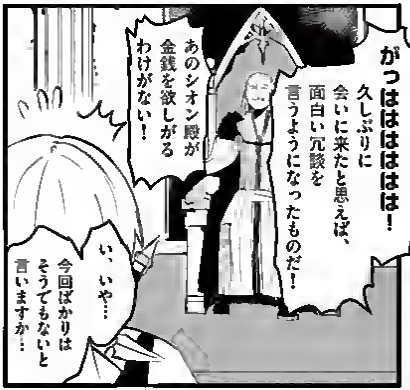
よくぞ参られた。

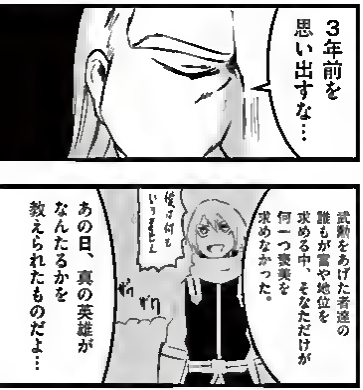

勇者シオンよ。
ラークヴァルト13世
ファロム王国国王

お、
お久しぶりです。
国王様。

方法？
ぐにょーん
まずは測定を使って顔の形を形成する。
ひどい形ね。
仕方ねーたろ。複雑なのは難しいんだよ。
んで、顔を描く
腹立つ顔の勇者ね。
でも、これでは刀身の色でバレるのではないか？
そこでアンリが食っていた、
この七色山ブドウを使う。
コイツは一つ一つの皮が違う色になっていてな。
この皮をこすりつければ違う色になってホラ、色がつく。
絵の具の代用品として画家も使ってるもんなんだぜ。
へえー画家でもないのに詳しいのね。
ちょっと感心
ああ大根を肌色にする時によく使ってたからな。
前言を撤回するわ。
レプリカ
クク…
上手くいったみてーだな！

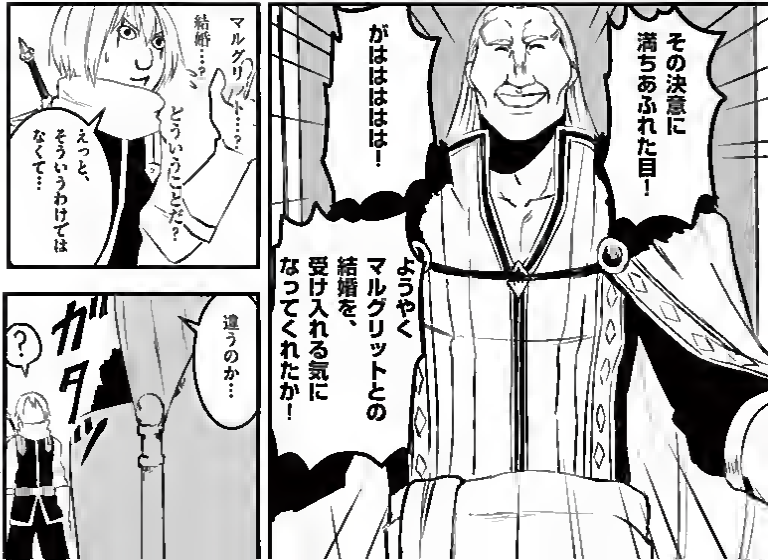
にしても…
想像以上に屈強そうな王様だぜ…
して、勇者シオンよ。
今日は何用で参られたのだ？
確か3年前の戦いでは国王自ら前線で戦ってたんだっけ…
い、いやー、そのですね。
旅の資金が底をつきまして…ですね。
少しばかり工面していただけないかと。


がっはははははは！
久しぶりに会いに来たと思えば、面白い冗談を言うようになったものだ！
あのシオン殿が金銭を欲しがるわけがない！
い、いや…今回ばかりはそうでもないと言いますか…

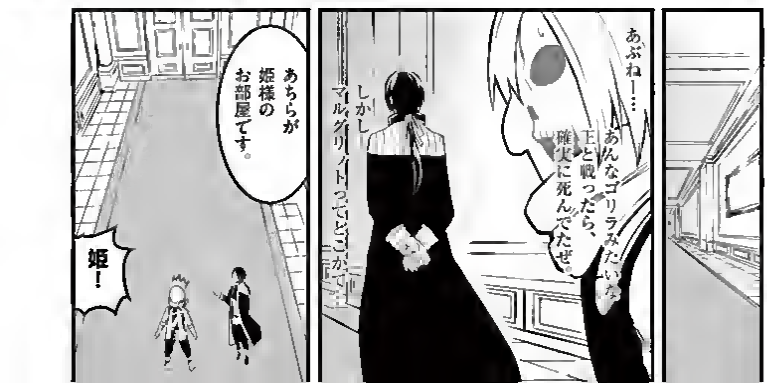

3年前を思い出すな…
武勲をあげた者達の誰もが富や地位を求める中、そなただけが何一つ褒美を求めなかった。
あの日、真の英雄がなんたるかを教えられたものだよ…

ますいぞ……！
どんどん金を請求しにくい空気に…！
それで本当は何用で参られたのだ？
本当もクソもねーよ！
俺はテメーの金にしか用はねーんだよ！
クソ…どうする!?
どう言えば金がもらえるんだ!?

まずい…
汗で顔が！
ポタッ
むむ…！
そなたの顔！
バレたか…!?
クソ…


その決意に満ちあふれた目！
がははははは！
ようやくマルグリットとの結婚を、受け入れる気になってくれたか！
マルグリット…？
結婚…？
どういうことだ？
えっと、そういうわけではなくて…
違うのか…
ガタッ
？

では、わかったぞ…
奈と手合わせをしに来たのだな？
いえ、マルグリットの方でした！！
かしこまりました国王陛下。
アイザック・ガードナー
マルグリットの教育係
ニコッ
そうかそうか！
ではアイザックよ、部屋まで案内してやってくれ！


あぶねー…
あんなゴリラみたいな王と戦ったら、確実に死んでたぜ。
しかし、マルグリットってどこだ…？
あちらが姫様のお部屋です。
姫！

そうか！マルグリットってこの国の第三王女の名前じゃねーか！

オイオイあの勇者！お姉様との結婚を断ってやがったのかよ！最低な野郎だな！

いや…にかしあの王の娘…

ゴリラみてーな女なのかもしれん…

それでは、お二人の再会を邪魔しないよう私はこれで失礼します。

へいへい。

勇者殿…

いくら未来の妻になる方とはいえ、今はこの国の最高権力者の娘。

くれぐれも間違いを起こさなきよう…

はははっ！流石にゴリラに発情しねーよ

おーい！ゴリ…

マルゴリットー！

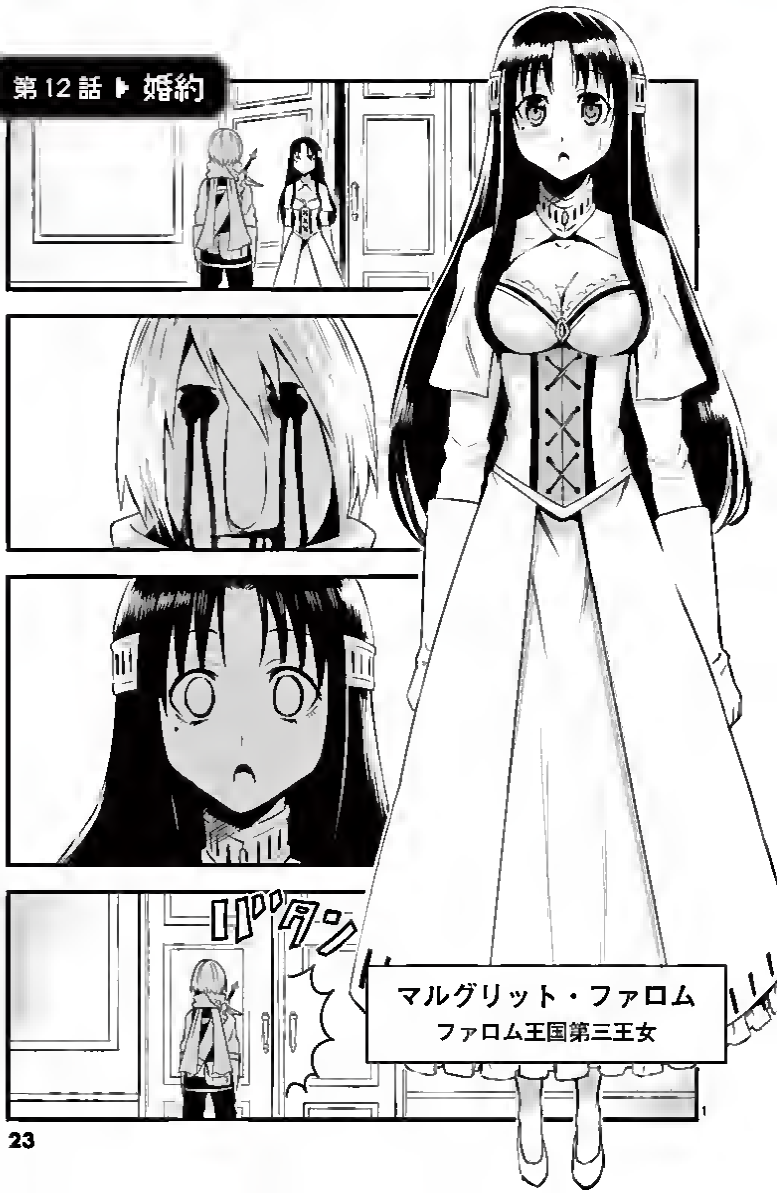
コンコン

勇者が来たぞー！

勇者様…!?

ゴリ美少女！
ゴ…
ガチャ
お…
お久しぶりでございます。
勇者さ…
ドロオ
ま…？

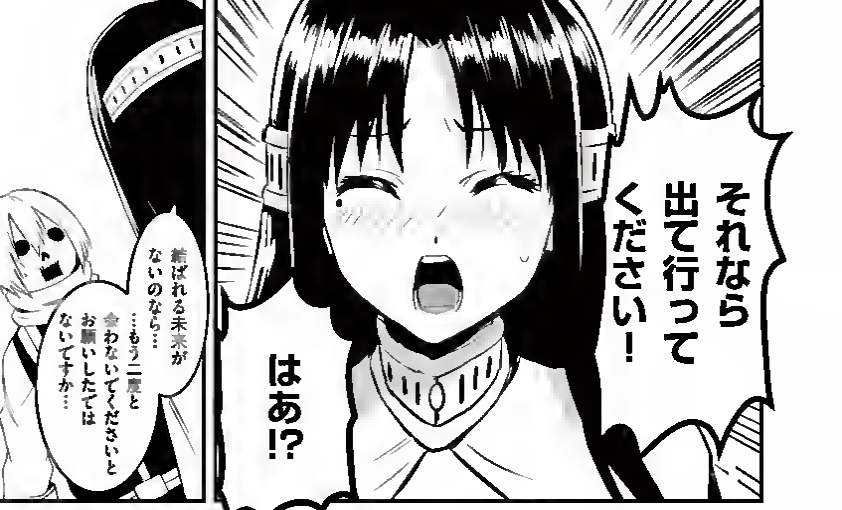
めっちゃスゴイオッパイだった…
あ！チョウチョ！

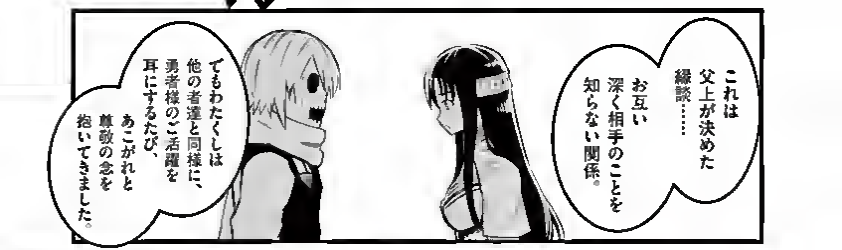

マルグリット・ファロム
ファロム王国第三王女

え…!?
マルグリットさん!?
なんで閉めちゃうの…!?
カリン
カリン
まさか…!
ば…
化け物…!!
勇者殿、どうなされましたか?
ビクッ
クソ…このままじゃ厳ぎになる!
こうなったら姫を説得するしかねえ…!
頼む!入れてくれ!俺は本物の勇者だ!
これには事情があるんだよ!

ガチャ
事情って…
どういうことでしょうか…？
え…えっと…
それは…
の、
呪いなんだ…
悪魔に骨にされちまってね。
そいつを隠すためにマスクを…
グイッ
ダ…ダメか…
もう諦めて逃げるしか…

ごめんなさい……！
勇者様が
そんな大変な目に
遭われていらしたとは
知らなくて！
…てっきり父上の
いたずらか
何かかと……！
それで…
ここへ来られた
ということは…
わたくしと
結婚してくださる気に
なったということ
ですか！？
い、いや！…
今日は
ただ会いに
来ただけっつーか…
ククク…
すくいったみたいだな…
所詮は温室育ちのお姫様や
チョロい…!!
姫で美少女…
たしかにおいしい話だが
俺が結婚すると
悲しむ女達が
いるからなぁ
モテる男はツラいぜ…


それなら
出て行って
ください！
はあ!?
結ばれる未来が
ないのなら…
…もう二度と
会わないでくださいと
お願いしたでは
ないですか…

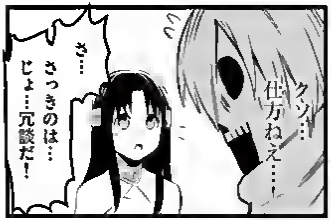

これは
父上が決めた
縁談……
お互い
深く相手のことを
知らない関係。
でもわたくしは
他の者達と同様に、
勇者様のご活躍を
耳にするたび、
あこがれと
尊敬の念を
抱いてきました。

きっと貴方を
深く知れば、
わたくしは
恋心を
抱いてしまう…
でしたら…
これ以上、
深入りしない
ままで
いた方が…

め…！
メンドクセェー！

しかし…
まずいな…

なんで目に光が
しちゃってんの？
嫁いになる
可能性だってあるだろうが…！
まぁ、中身があの
クソ男子ではなく俺だから、
1000%好きになってしまうだろうことは
絶対ないけどな！

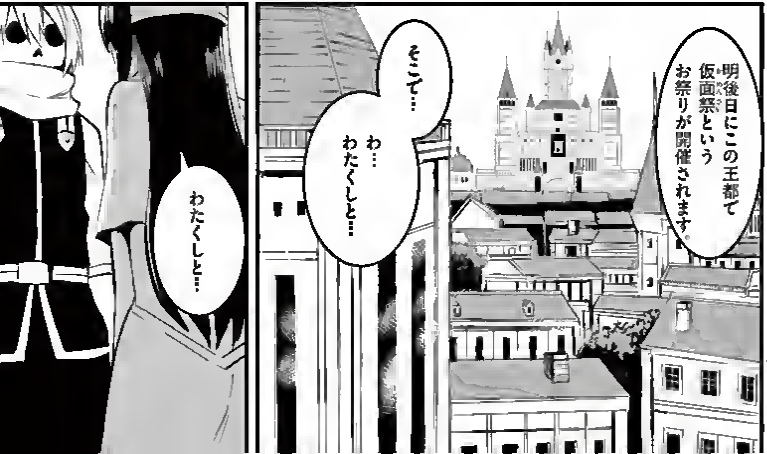

クソ…
仕方ねえ…！
さ…
さっきのは…
じょ…冗談だ！

結婚するに
決まってるだろ！

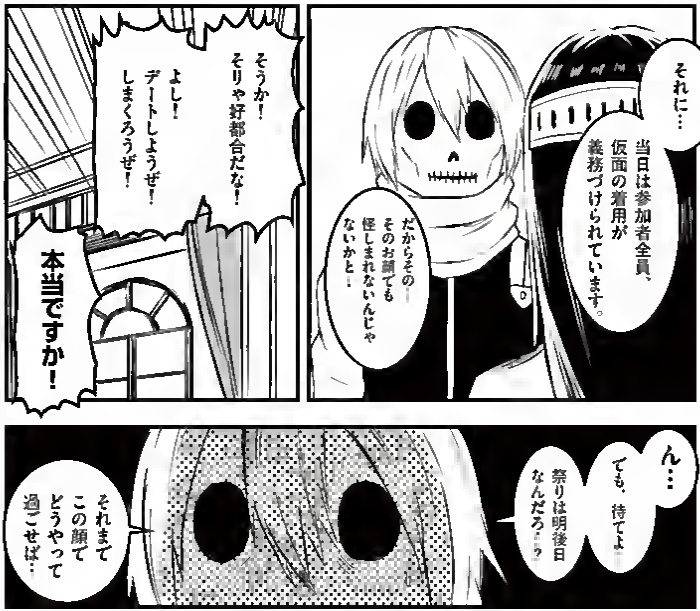
ここで追い出されたら…
間違いなくヤツらに
殺される！

ほ…
本当ですか！
勇者様！
ま、
まあ、今は
世界を救わなくちゃ
ならねえから、
その後になるけどな…
救った後、勇者は
いなくなるけどな！
はい、
承知して
おります！

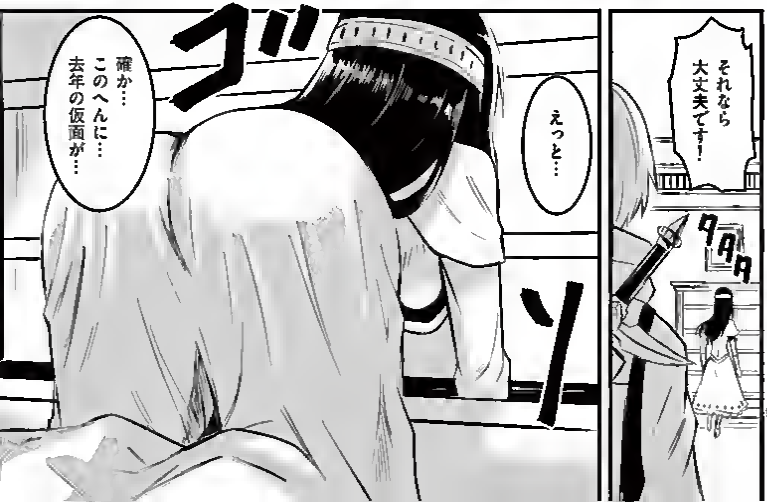
悪いな…
少々胸は痛むが…
世界を救う為には、
時に残酷な嘘も
つかなきゃ
なりねえんだ…
ただ、あの…
一つだけ…
わがままを
聞いていただいても
よろしいでしょうか…？
ん、なんだ？
言ってみな。


明後日にこの王都で
仮面祭という
お祭りが開催されます。
そこで…
わ…
わたくしと…
わたくしと…

デート…
してくださいませんか…？
デートだとおおおお!!
お!!女様と
結婚は無理だがデートはなってできる…
むしろ大歓迎だぜ！
そ、その…！！
結婚してくださるのでしたら、少しでも貴方のことを知ってから待っていたいんです！


それに…
当日は参加者全員、仮面の着用が義務づけられています。
だからその…そのお誘でも怪しまれないんじゃないかと…
そうか！そりゃ好都合だな！
よし！デートしようぜ！しまくろうぜ！
本当ですか！

ん…
でも、待てよ…祭りは明後日なんだろ…？
それまでこの顔でどうやって過ごせば…


それなら大丈夫です！
えっと…
確か…このへんに…去年の仮面が…
ゴソ

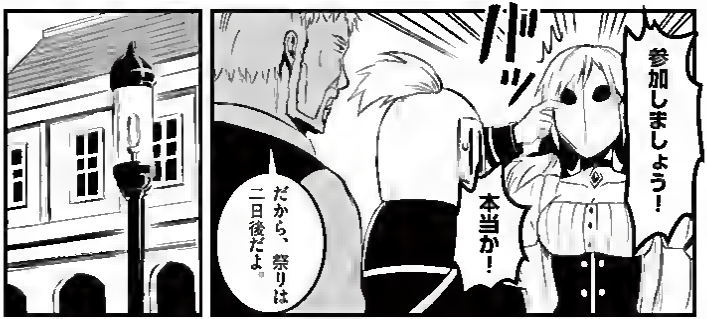
わたくしが
勇者様のお顔を
描いて差し上げます！
ありました！

ガヤ
ガヤ

王都仮面祭…

むむむ…
これは面白そうだ…
お嬢ちゃん、もう仮面つけて…ノリノリだねぇ。
祭りは二日後だよ。
ち…違う…！
王都は危険だからな！これは私の正体がバレぬよう…
むぐ…！
ちょっと！それ以上言うとホントに魔術師だってバレちゃうわよ！
そ…そうだった…
それにしてもユナ殿…
二日後が楽しみだな。
ちょっとアンリちゃん…私達は世界を救う旅をしてるんでしょ…
遊ぶ暇なんてないわよ。
そ…そんな！
だいたいこの時勢にお祭りだなんて…
まあまあ、お嬢さん。

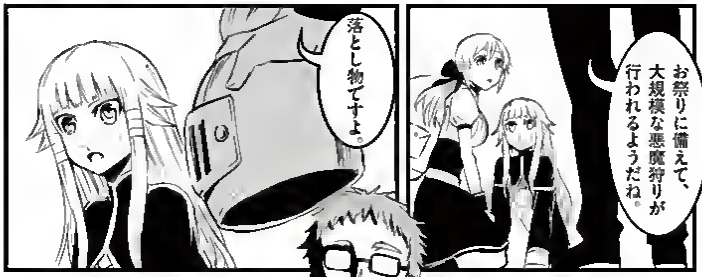
こんな時だからこそ息抜きは必要だよ。
暗い毎日だけじゃ平和になる前に心がどうかしちまう。
3年前にも中止にしようって声はあがってたんだけどねえ、
みんなには笑顔でいて欲しいって勇者様たっての願いで開催されることになったんだ。
勇者様が…！


参加しましょう！
本当か！
だから、祭りは二日後だよ。

じゃあお祭りまでトウカを元に戻す方法でも探しましょうか。
王都なら何か見つかるかもしれないし…
うむ、私もそう思っていたところだ！

それにしても…
やはりユナ殿も、トウカ殿のことを心配していたのだな。
はあっ!?
ち、違うわよ！
私…怖いのあまり得意じゃないのよ…
あのまま放置してたら、面白がって毎晩食かしに来そうじゃない…
むむう、それはそれで美ましいぞ！
やはり二人は仲が良いのだな！
はあ!?
ドン
ううっ！
アンリちゃん！
私もその遊びに混ぜてくれないかな…

ザッ
ザッ
ザッ

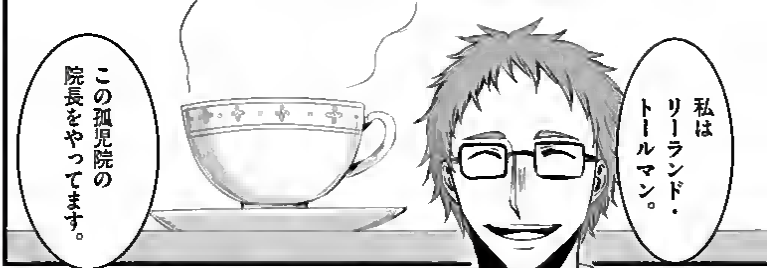

お祭りに備えて、大規模な悪魔狩りが行われるようだね。
落とし物ですよ。

オオ
オオオ
屍術師のお嬢さん。

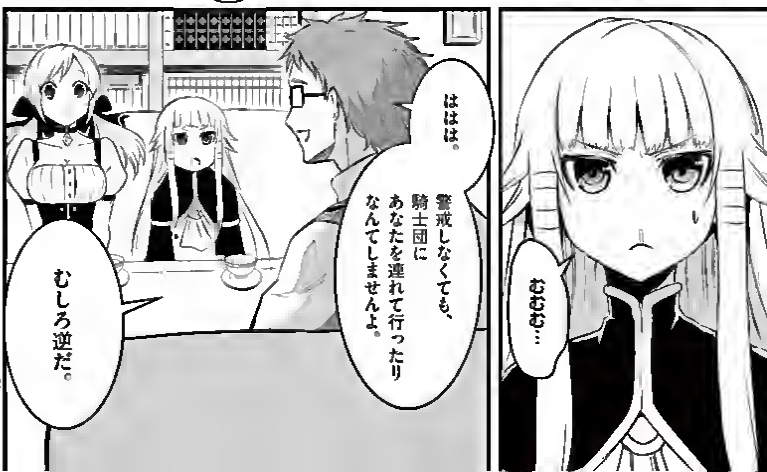
第13話▶おやつ

おかえりなさい
先生！
リーランド先生！

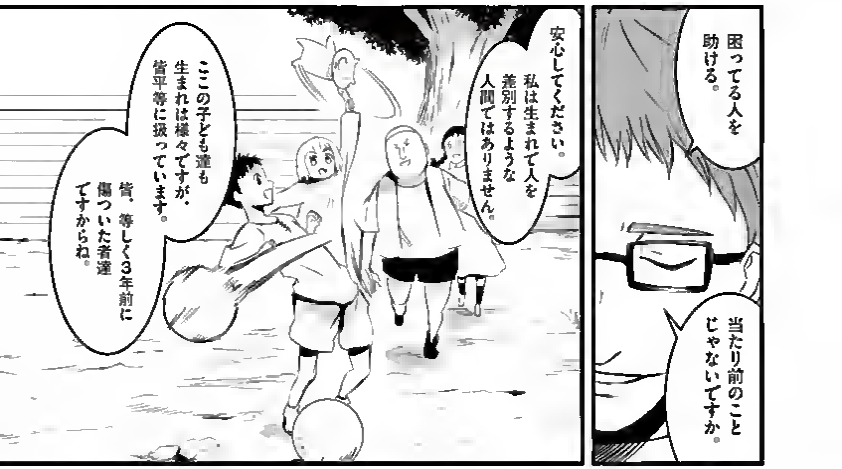
先生、
今日は遊んで
くれるの？
今日はお客さんが
来てるから、
また今度ですね。
そうだ
メアリー。
お手伝い
頑張ったから
プレゼントを
買ってきましたよ。
わあ！
ずっと欲しかった
やつだ！
ありがとう
先生！
…


私は
リーランド・
トールマン。
この孤児院の
院長をやってます。

危ないところでしたね。
屍術師のお嬢さん。
リーランド・トールマン
孤児院院長
ここは
地方の町や村とは違い、
屍術師の存在を
知る者も少なくはない。
下手したら
捕まっていた
ところですよ。


むむむ…
ははは。
警戒しなくても、
騎士団に
あなたを連れて行ったり
なんてしませんよ。
むしろ逆だ。

王都であなたが安心して泊まれる宿を探すのは一苦労でしょう？
良かったらうちに滞在しないかと思いましてね。
もちろんそちらのお嬢さんも一緒に構いませんよ。
本当ですか！
是非！
だが、なぜ屍術師（ネクロマンサー）の私なんかを…

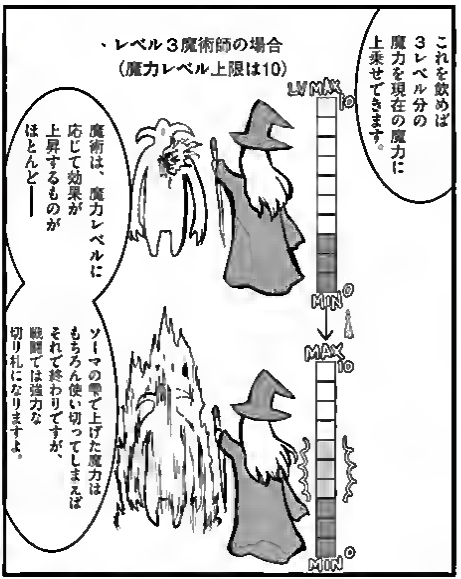

困ってる人を助ける。
当たり前のことじゃないですか。
安心してください。私は生まれで人を差別するような人間ではありません。
ここの子ども達も生まれは様々ですが、皆平等に扱っています。
皆、等しく3年前に傷ついた者達ですからね。

リーランド殿…

それにしても、
魔術師のあなたが
危険を冒してまで
王都へやって来たのは
なぜ…？
世界を救う
旅の途中でな。
国王から
お金をもらう
ために…
ムグッ。
あ、あの…
魔力を上げる
方法を探しに
来たんです！
魔力を上げる
方法？
魔力を限界まで
使い切ることを
毎日続けるのが
一般的な方法ですね。
2、3年続ければ
それなりの魔力量を
手にしている
はずですよ。
いえ、
簡単に魔力を上げる
薬みたいなものを
ご存知ではないかと。
個人的には
参考になったけど…
本当ですか！
一時的に
魔力を上昇させる
薬ならありますよ。
ええ、私は
医者でも
ありますから。
確かここに…
これだ。
ソーマの雫。
コト

アンリちゃん…
トウカ殿の場合、単純計算で…レベル4！
再生には十分足りるだろう。

それ、私達に売っていただけませんか。


これを飲めば3レベル分の魔力を現在の魔力に上乗せできます。
、レベル3魔術師の場合
（魔力レベル上限は10）
LV MAX 10
MIN 0
魔術は、魔力レベルに応じて効果が上昇するものがほとんど――
MAX 10
MIN 0
ソーマの雫で上げた魔力はもちろん使い切ってしまえばそれで終わりですが、戦闘では強力な切り札になりますよ。

そうですね…原料に世界樹から極希に採れる貴重な果実が使われていましてね。
かなり値は張りますけどそれでもいいですか？
え？いくらなんですか？

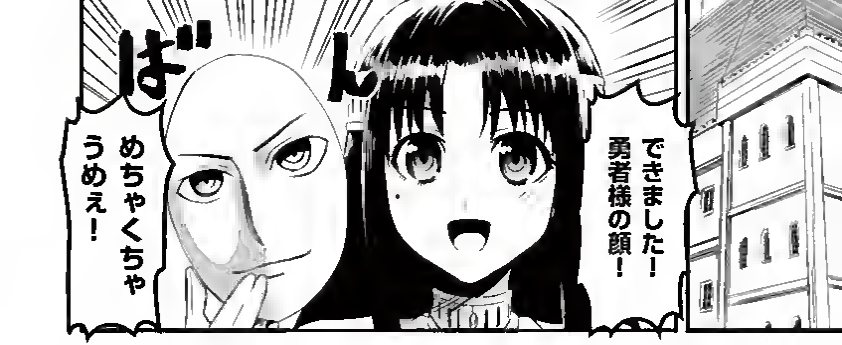
一億。
いちおくぅッ!?

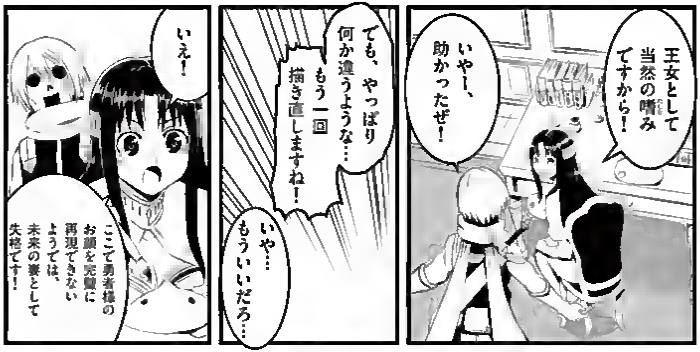
うむ。
買おう。
買えるわけないでしょ！
大丈夫だ！トウカ殿が大金を携えて帰ってくるだろうからな。
ちょ、ちょっとアンリちゃん！
本気でトウカの悪巧みがうまくいくと思ってたの!?
絶対手ぶらで帰ってくるに決まってるじゃないの！
そ…そうなのか？しかしあのトウカ殿ならば…
あのトウカだからよ！
それでも…
一億なんてどうやっても…

見たところあなた達は冒険者ですね。お金がないのでしたら、いま行われている悪魔狩りに参加するのはどうでしょう。
私が口利きすれば、今からでも参加できますよ。

そうですね。
では、残りは屍術師のお嬢さん。
あなたの身体をみせていただくことで手を打ちましょう。
!?

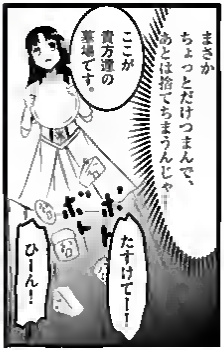
ヒイイイッ！
リーランドさん！
あなた
もしかして
そういう趣味が……！
交換条件
としては
安いものでは
ないですか。
わ…
ぎゅっ
ぬ
アンリちゃんが
つらい思いを
するくらいなら…
私が代わりに……！
いえ…
医者として
屍術師の身体の
仕組みが
知りたいだけ
なのですが…
魔晶石を
心臓に代用する
方法がわかれば、
大勢の人を
救えると思って…
あれえええ!?
そもそも
すべて脱いで
いただかなくても
構いませんし…
わあああああ！

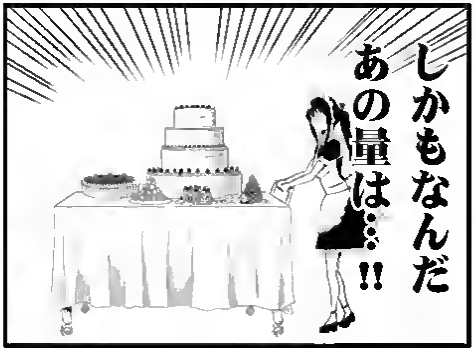

できました！
勇者様の顔！
ばーん
めちゃくちゃうめえ！

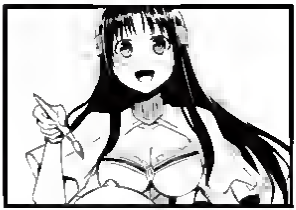

王女として当然の嗜みですから！
いやー、助かったぜ！
でも、やっぱり何か違うような…
もう一回描き直しますね！
いや…もういいだろ…
いえ！
ここで勇者様のお顔を完璧に再現できないようでは、未来の妻として失格です！

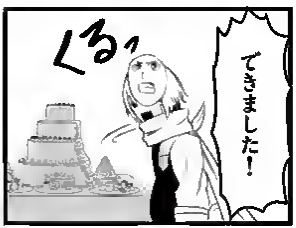
オオオオ
いや…
もういいだろ…
コンコン
姫様、おやつのお時間です。

はい、そちらに置いておいてください。
おやつ!?
おやつだと!?
俺達の血税でそんな贅沢を…
俺なんてここ数日、山菜しか食ってねーのに
ムシャムシャ

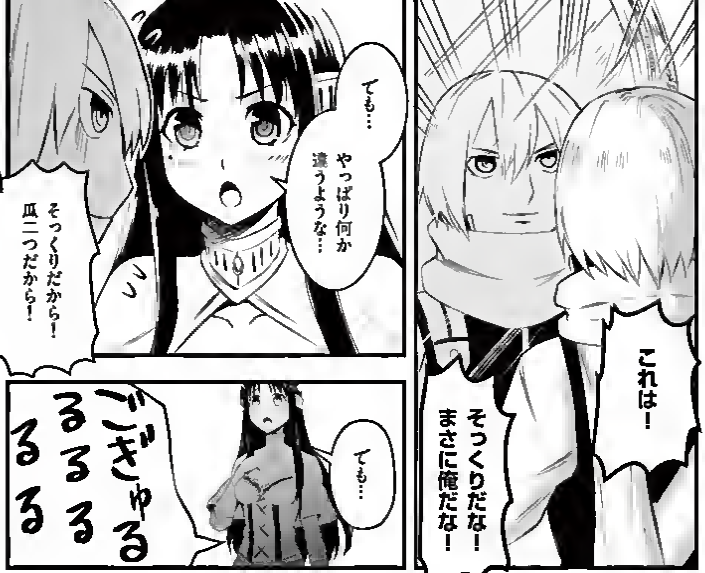

まさかちょっとだけつまんで、あとは捨てちまうんじゃ
ここが貴方達の墓場です。
ボトッ
たすけてー!
ひーん!

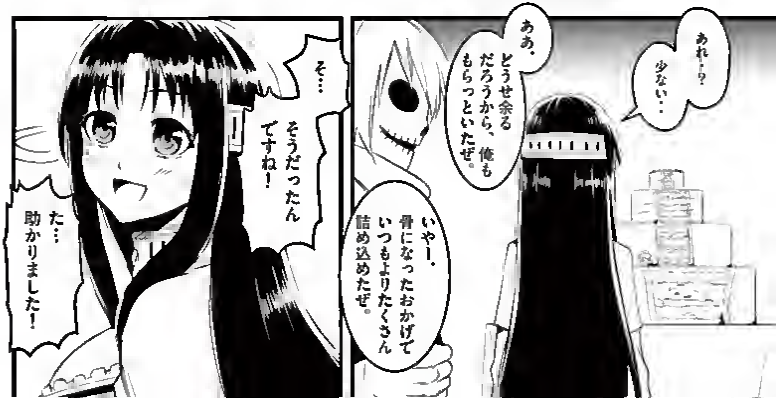

しかもなんだあの量は…!!




できました!
くる

許せねえ…
せめてこのおやつ達だけでも俺が救ってやる!


これは！
そっくりだな！
まさに俺だな！
でも…
やっぱり何か違うような…
そっくりだから！
瓜二つだから！
でも…
ごぎゅるるるるる
ご…
ごめんなさい。
おなか空いてきちゃったんで、少し休憩しますね。


あれ？
少ない…
ああ、どうせ余るだろうから、俺ももらっといたぜ。
いやー、骨になったおかげでいつもよりたくさん詰め込めたぜ。
そ…
そうだったんですね！
た…
助かりました！

あ…
あの…

むこう向いてていただけますか…？

え…
ああ…

ど…
どういうことだ…？

そんなに食べるとこ見られるのが恥ずかしいのか…？

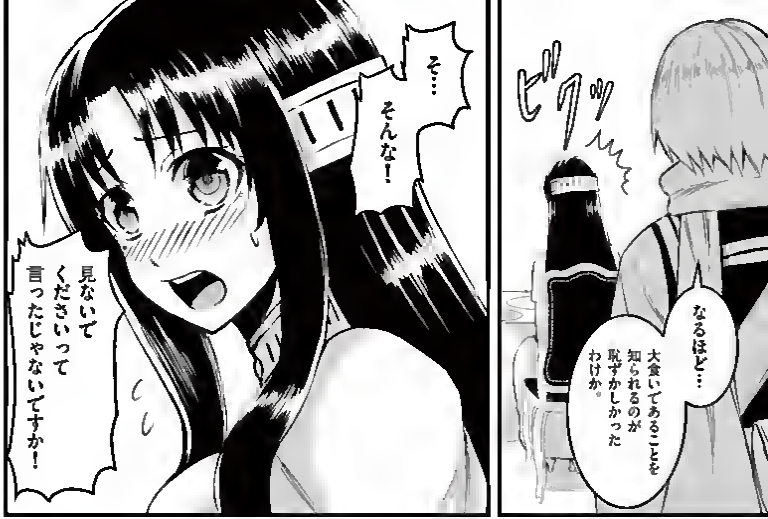
ドドドドド

な…！

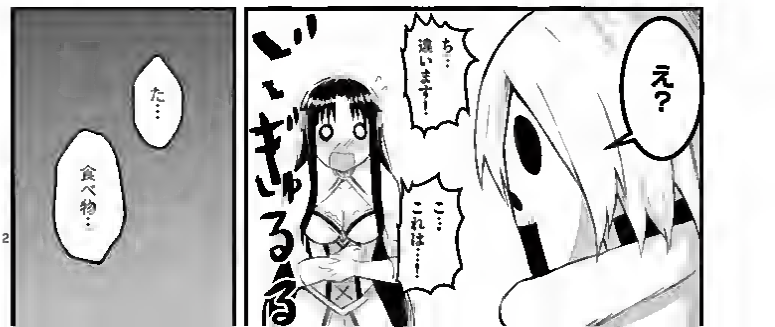
なんだあの食いっぷり！

か…完食しやがった！

軽く10人前はあったぞ！

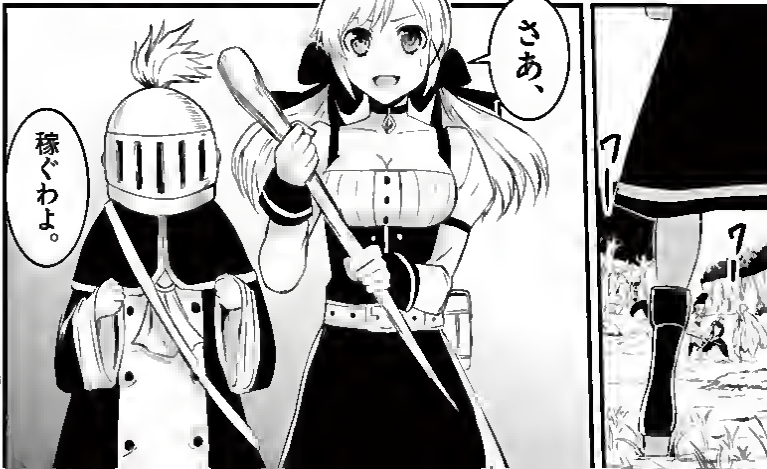

ビクッ
なるほど…
大食いであることを
知られるのが
恥ずかしかった
わけか。
そ…
そんな！
見ないで
くださいって
言ったじゃないですか！

ま、まあ数日
何も食ってなけりゃ
あれくらい
いけるだろうし、
恥ずかしがる
ことでもねーと
思うけどな。
うう…
だって
女性らしく
ないですし…
幻滅されて
しまうのでは
ないのかと…
ごきゅるるる


え？
ち…
違います！
こ…
これは…！
いっぱい
ごきゅるるる
た…
食べ物…

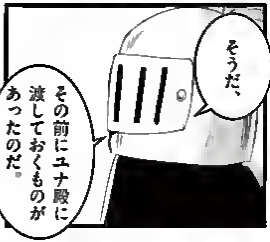
13

オオオオオオ


さあ、
稼ぐわよ。

ドオン
第14話▶魔漏症

さあ、
リーランド先生の親切に応えるためにもできる限りたくさん倒すわよ！


そうだ、
その前にユナ殿に渡しておくものがあったのだ。

ガサゴソ

ぐちゃ〜
鞄の中汚っ！
チーン
ポイッ
言った側から捨てるのやめなさい！

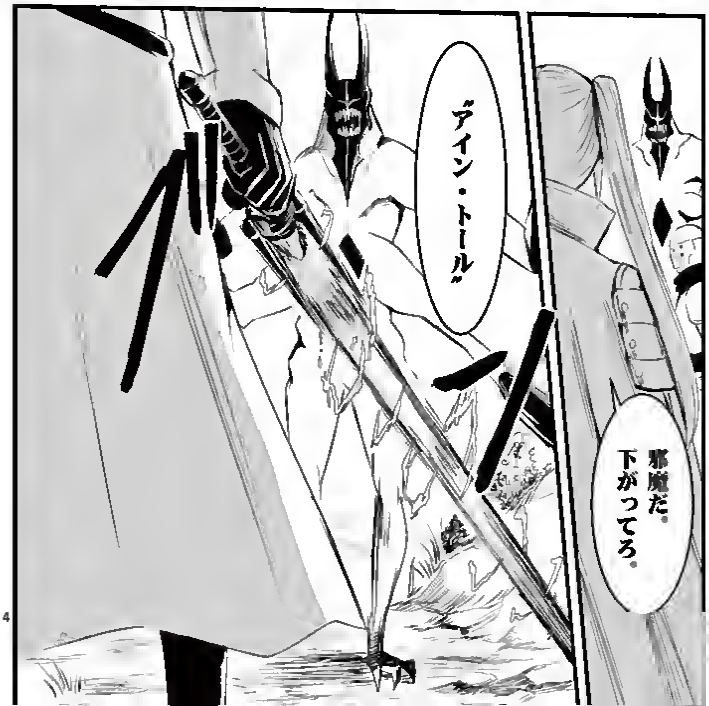
ユナ殿は
肉体強化の魔術と
相性が
いいだろうと
思ってな。
その魔晶石と
悪魔の皮を
組み合わせた
専用装備を
作っておいた
のだ。

装備すれば
魔晶石単体で
使う時以上の
効果を
発揮するぞ！
え！
ホントに!?
アンリちゃん
ありがとう！
ちなみに
デザインは
トウカ殿が
考えた。
は？
魔晶石
は？

あの…
アンリちゃん…
こういうもの
作る時は
トウカじゃなくて
私に相談して…
フハハハ…
驚かせようと
思ってな！
驚いたわよ…
悪い意味でね…
うう…
着てくれ
ないのか…？
着る！
着るわよ！
服の下にだけど！
ぐわっ！

クワァーッ！
狩りダト!?
狩る側がドチラカ！
理解デキテ
いないヨウダナ！
クワァーッ！

この中級悪魔…
強すぎる……！


〝アイン・トール〟
事態だ。
下がってろ。

ズゥゥーン
5
フン…
やはり
狩られる側じゃ
ないか。
すごい！
あの人！
めちゃくちゃ強い！
バイ
バイ

シルエラ・カルメン。
王国最強の4人の戦士…
『四騎士』の一人っすよ。
雷の魔術を
触媒によって収束させ、
剣のように
操るところから、
雷剣のシルエラと
呼ばれているっす。
シルエラ・カルメン
四騎士

お姉さん達も
狩りに
参加した
冒険者っすか？
えっと…
は、
はい…
え！

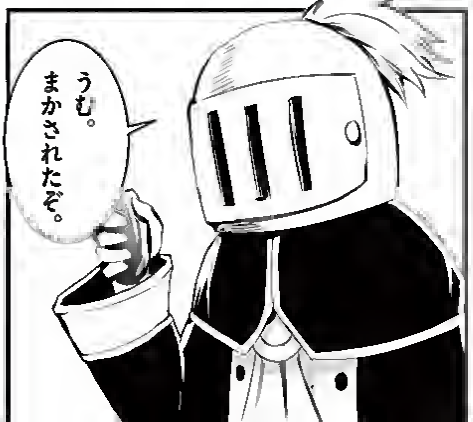
俺はコリン、
コリン・ブラット
冒険者
後ろのは
ネイガン。
ネイガン・ボーン
冒険者
四騎士様が
あんな調子だし
ここじゃ稼ぎは
見込めないっすよ。
それより向こうで
スッゲー穴場
見つけたんすよ。
協力して
荒稼ぎしない
っすか？

確かに多いな。

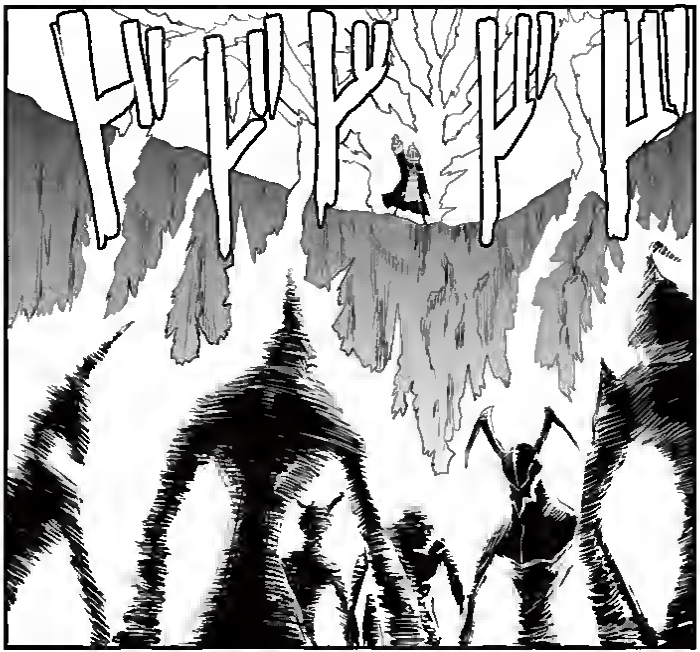
でも、兜ちゃんなら楽勝っすね。
…兜ちゃん？

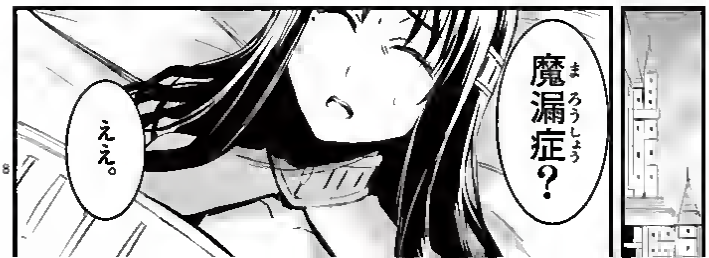
俺は生物の魔力量を視る魔術が使えるんすよ。
兜ちゃんの魔力レベルは9前後…
あの雷剣に匹敵するレベルだ。

これも雷系の魔晶石っす。
ドドーンと不意打ちかましちゃってください。


うむ。
まかされたぞ。

ディン・フルフル
バッ


ドドドドド


魔漏症(まろうしょう)？
ええ。

10年前から姫様は
魔力を肉体に留めることが
できないお体に
なってしまわれました。
ゆえに魔力を
作るためのエネルギーを
補給するため、
大量の食事を
とらねばならないのです。
貴様
という男は…！
魔力が尽きた
状態が続けば、
最悪死に至る
可能性も
あるんだぞ！
なのに
勇者殿！
き…
き…
そ…
そうだったんだな…
ふざけるな！
私は3年前にも
伝えたはずだぞ！
貴様は
それでも
勇者か！
いや！…
ど忘れ
しちゃってて…
ちゃんと反省しろ！
さっきから
その不敵な笑みは
なんなんだ！
アイザック…
勇者さまを
責めないで
ください…
これは…
わたくしの…
不注意が
招いたこと
ですから…
ガチャ
しかし…！
ソーマの雫と
お食事をお持ち
しました！

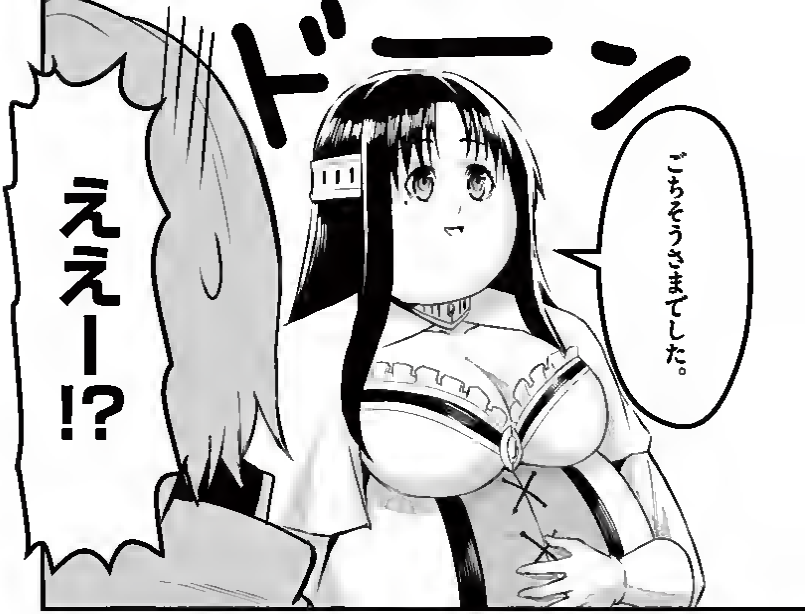
みなさん…
もう…
大丈夫です…
ご心配を
おかけしました。

薬の効果が切れる前に、
わたくしは
食事を済まさなければ
なりません。
みなさん…
お席を外して
いただけますか？

別に今更
恥ずかし
がらなくても
いーだろ。
あんたが
大食らいなのは
全員知ってるわけ
だしよ。
貴様は
姫様の言うことが
聞けないというのか！
いえ…
そうですね…
将来の夫に
隠し事は
できません…

それでは…
わたくしだけ…
失礼いたします。

うおおおお！
料理が次々と消滅していく！
ドドドドドドドド
姫様は素早くエネルギーを得るために、厳しい特訓の末、世界最速の早食い能力を身につけられたのだ。
遅い！最低でも1秒間に16咀嚼を目指せ！
ハグハグ
ハグハグ
ハグハグ


ドーン
ごちそうさまでした。
ええー!?

幻滅…
しましたよね。
これが
わたくしです…
食事後は
1時間ほど
このような醜い姿に…
オイオイ…
嘘だろ…!!
これはまさか!

きゃあっ

うひょおおおお！
ムチムチ
じゃねえか！

ゆ…
勇者様!?

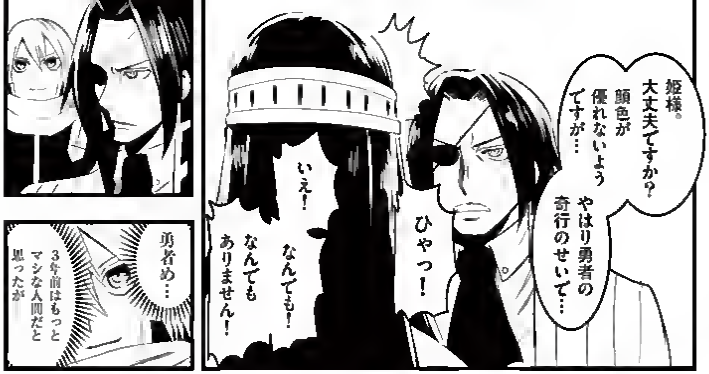
貴様！
姫様に何を！

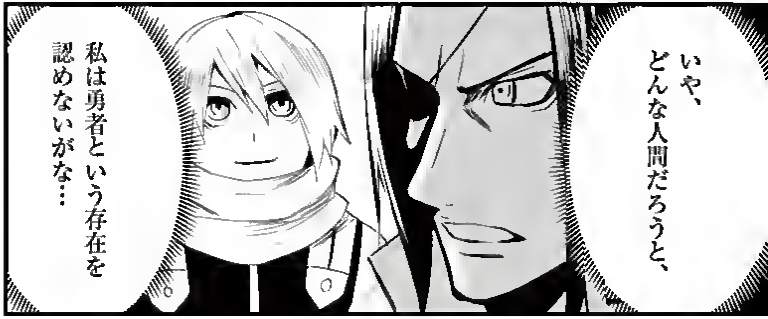
スーパームチムチ
フトモモを
拝めるチャンスだぜ！
あんたも
興味あるだろ？

ああ!?

いやー、
眼福だったぜ。

ニーソ履いてくれると
ムッチリ感が
強調されて
さらにいーんだけどな。


姫様。
大丈夫ですか？
顔色が
優れないよう
ですが…
やはり勇者の
奇行のせいで…
ひゃっ！
いえ！
なんでも！
なんでも
ありません！
勇者め…
3年前はもっと
マシな人間だと
思ったが

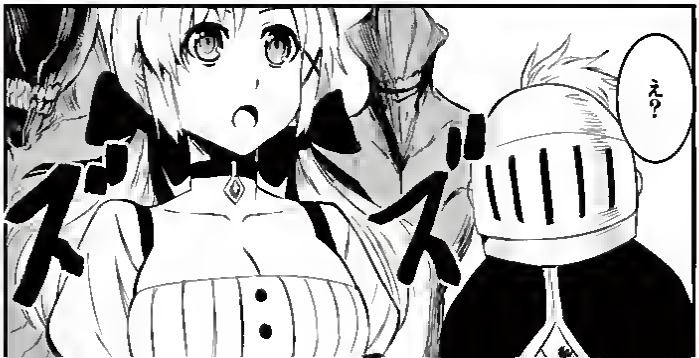

いや、
どんな人間だろうと、
私は勇者という存在を
認めないがな…

はああ!!
アイン・
グレンデル！

そうっすよ！
あんな簡単に一掃しちゃうなんて俺びっくりっすよ！

さすがユナ殿!!
さっそくあの魔晶石を使いこなしてるようだな。
それを言うならアンリちゃんよ。あの一撃でほとんどの悪魔を倒しちゃうんだもん。
尊敬しちゃうわ。

まあ、つっても、
元から全部死体なんすけどね。


え？

な…！
屍術だと…！
ありがとう。
コリン君。
いやぁ、
こいつら誘い込むのむちゃくちゃチョロかったっすよ。
骨の旦那ぁ。

ギィイ

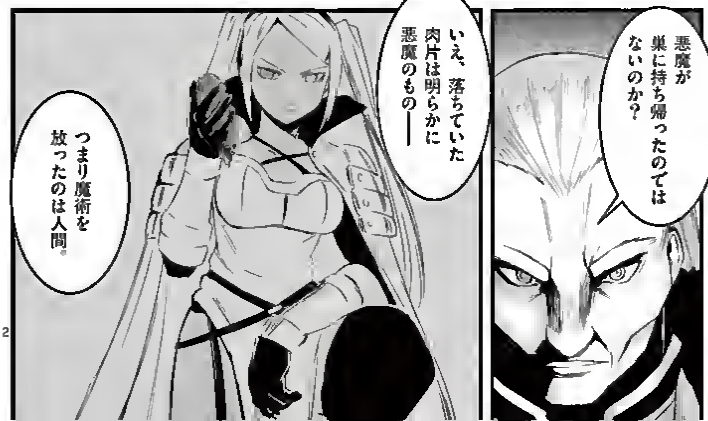
戻りました、
国王陛下。
大儀であった。
第15話 ▶ 侍医

中級が6、
下級が33…
付近の悪魔は
ほぼこれで
片付いたでしょう。

して、
成果は？

ただ…
少し
気になることが――
ほう？
狩りの最中、
遠方でかなり
強力な雷系魔術の
発動を目撃しまして…
気になって、
その場所に
向かったのですが…

そこにあったのは
血痕と
黒こげになった
肉片のみ…
死体そのものは
一つも
なかったんです。


悪魔が
巣に持ち帰ったのでは
ないのか？
いえ、落ちていた
肉片は明らかに
悪魔のもの――
つまり魔術を
放ったのは人間。

しかし、
人間が図体のデカい
悪魔の死体を
まるごと持ち去るような
時間はなかったはず――

ただ、その場所に
撒び散った肉片と
血の量を見る限り、
悪魔が一体も
死なかったとも
考えられない――

どう思います？

ふむ…

悪魔か…

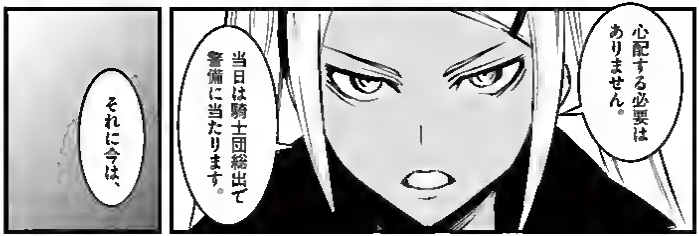
実は王都内でも
行方不明者が
ここ数日で
急激に増えていてな。

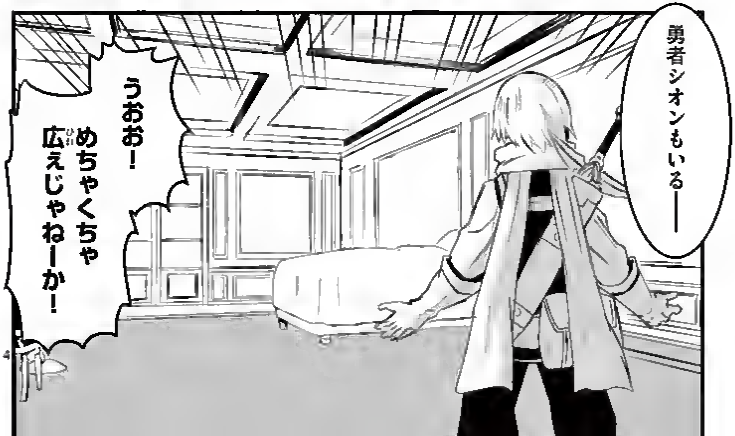
いや、それ以外の闇が
この王都一帯のどこかに
潜んでいるのやもしれん。

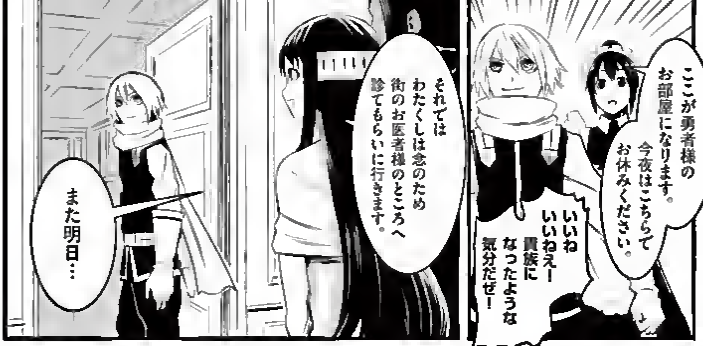
やはり
祭りは
中止に
すべきか。

それは
賛同しかね
ますな。

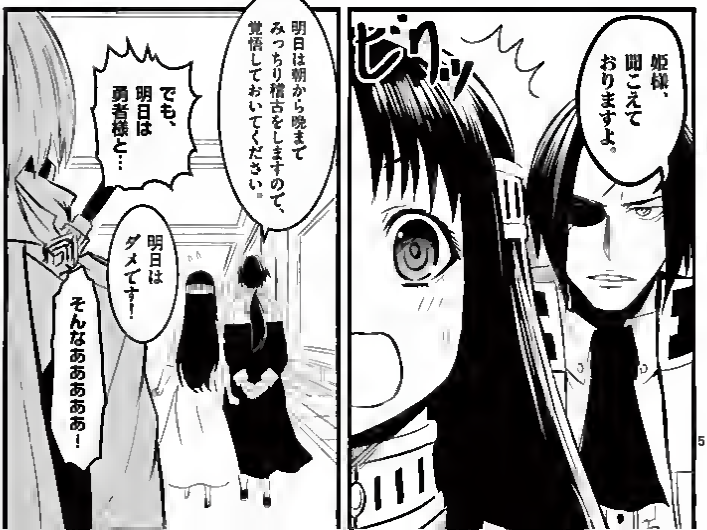
王都仮面祭は年に一度、
仮面をつけることにより
全ての民が平等になれる日。
中止にでもしようものなら、
我々や貴族階級に対する
民衆の不満感情は
一気に高まることでしょう。
ただでさえ
二度の悪魔の侵略により、
民衆の生活は
苦しさを増す一方
なのですから。


心配する必要は
ありません。
当日は騎士団総出で
警備に当たります。
それに今は、


勇者シオンもいる――
うおお！
めちゃくちゃ
広えじゃねーか！


ここが勇者様のお部屋になります。今夜はこちらでお休みください。
いいねいいねえー貴族になったような気分だぜ！
それではわたくしは念のため街のお医者様のところへ診てもらいに行きます。
また明日…

え？この城に医者はいねーの？
その…わたくしの病気を診てくださってた先生は侍医を辞めてしまわれたので、
何かあった時はこちらからお伺いすることにしてるんです。
ついでにお稽古もサボれますし。
ほう…


姫様、聞こえておりますよ。
ピクッ
明日は朝から晩までみっちり稽古をしますので、覚悟しておいてください。
でも、明日は勇者様と…
明日はダメです！
そんなあああああ！

ひゃっほーーい！
バイーン
さて…
バタン
なんだよこのベッド！
フッカフカじゃねーかよ！
フッカフカ！
フッカ
フッカ
いやー！
ようやく解放されたぜ！
姫は倒れるわ、
ゴリ王は話聞かねーわ、
眼帯野郎はいちいち
突っかかってくるわ
散々だったぜ。
まあ、こんな
豪華な部屋に
タダで泊まらせてくれたから
許してやるけどな。
明後日まで帳だし、
ずっとここで
ゴロゴロするっきゃ
ねえな！
ごろーん！
ゴロッ
ごろーん！
ゴロッ

…て、
まずい。

金のこと
すっかり忘れてた…

この調子だと
国王から
直接もらうのは
不可能だ…
つーかあのゴリラには
極力会いたくねぇ。

…とりあえず
ユナ達と
いったん
合流しねぇとな…

パルコニーから
脱出するか…

ヒョイ

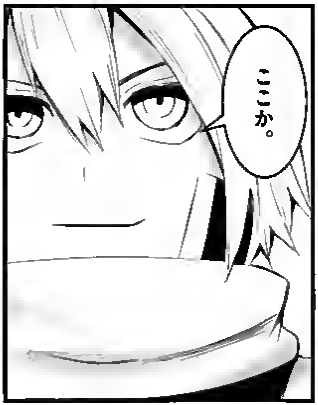
ヒョイ

ヒョイ

おーい！
ユナー！！
アンリー！
ユナー！
アンリー！
ユーナー！
アーンーリー！
きゃあああっ!!

くそ！
どこにもいねぇぞ！
城の前で待ち合わせって言ったのに！
勇者様？
誰かお捜しかい？

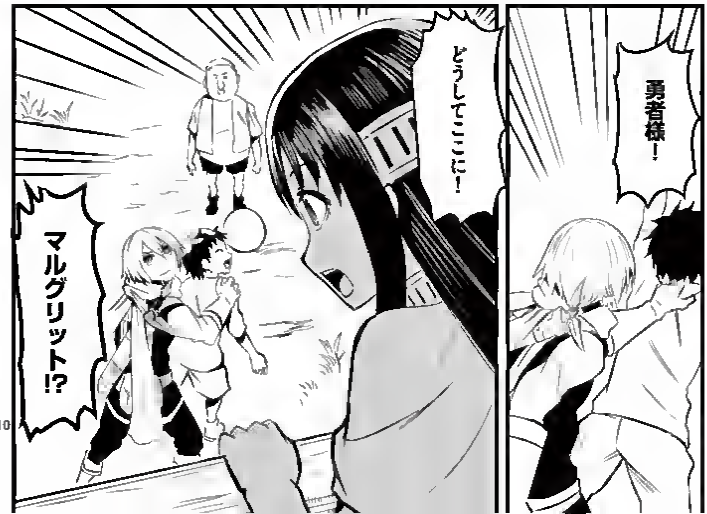
金髪巨乳の女の子に兜をかぶった子ども…
ああ、確かリーランド先生と歩いているところを見たな。
リーランド先生？
ああ。お屋敷までの地図を書いてやるよ。


ここか。

勇者様！
あ、勇者様だ！

勇者様！
遊びに来てくれたの!?
ああ？
悪いな。
今、俺は
忙し…
ゴッ

テメー！
クソガキが！
何しやがる！
わー！
勇者様が怒った！！
きゃはははは！
逃げろー！
なにやら外が
騒がしいですね。


勇者様！
どうしてここに！
マルグリット!?

じゃあ、この人が元締医の…
はい！病を発症してからはずっと面倒を見てくださってて…
わたくしにとっては家族同然の方です。
ははは、うれしいことを言ってくれますね。

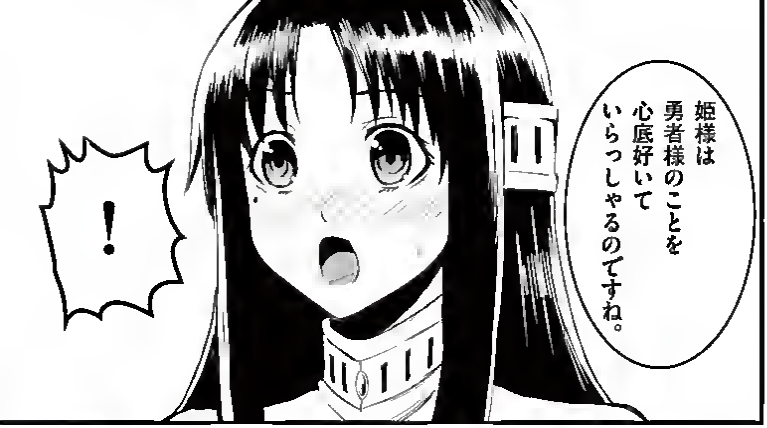
実はこの孤児院を始めたのは、勇者様が人々を救う姿に憧れたのがきっかけなんですよ。
まあ、私には勇者様のように大勢の人は救えませんでしたが。

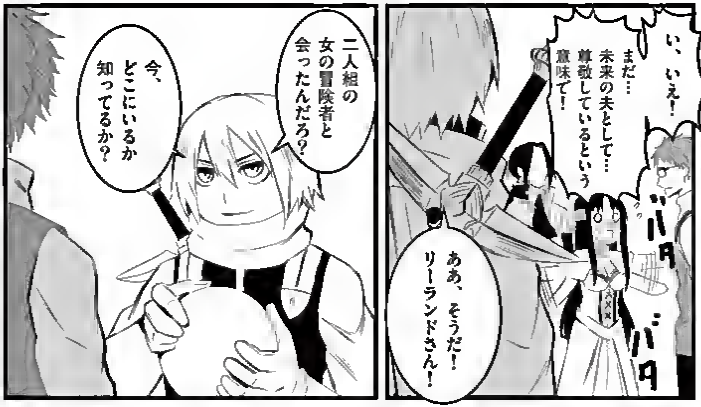
はじめまして、リーランド・トールマンです。
ずっとあなたにお会いしたかった！

おい！テメーらいい加減にしろ！
わー！また勇者様が怒ったー！

いやぁ、十分立派なんじゃねえの？
勇者なんてたまたま選ばれたからやってるだけだぜ？
こんだけガキどもを救ってるあんたの方がスゲーじゃねーか…
ヴッ

やはり勇者様…
子ども達にも
好かれていますね。
彼らのあんな笑顔は、
久しぶりですよ。
ただ、少しイメージと
違ったというか…
いえ、悪い意味では
ないのですが。
想像以上に
くだけた性格の方
ですね。
わたくしも
勇者様は3年前と
変わられたように
感じます。
でも…お優しいところは
相変わらずです。
わたくしを心配して、
ここまで
見に来てくれましたし…
それに
あんな風に子ども達と
同じ目線に立って
遊んであげることなんて、
心の綺麗な方にしか
できません。
……

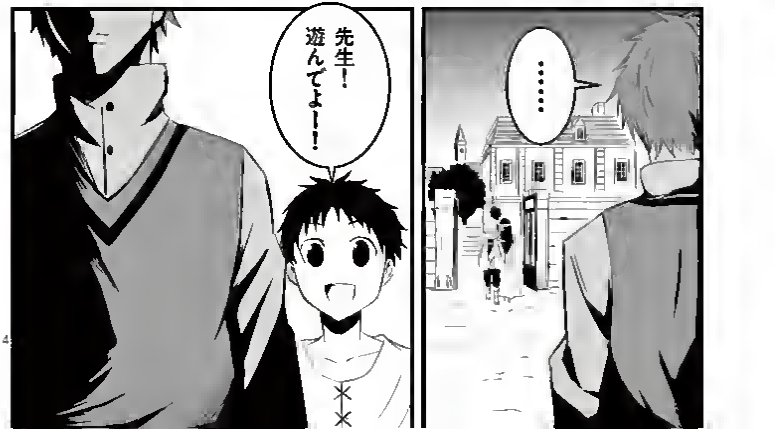

姫様は
勇者様のことを
心底好いて
いらっしゃるのですね。
！


い、いえ！
まだ…
未来の夫として…
尊敬しているという
意味で！
ああ、そうだ！
リーランドさん！
二人組の
女の冒険者と
会ったんだろ？
今、
どこにいるか
知ってるか？

ああ、
その二人なら
悪魔狩りに
参加されましたよ。
もう戻って
来られてるんじゃ
ないでしょうか？
いや、それが
見あたらねぇん
だよなあ。

まさか悪魔にやられたんじゃねえよな…
いや…
俺が無事ってことは、少なくともアンリは無事だってことだ。
とうせ祭りの日までは
この街に居るんだ。
それまでには見つかるだろ！

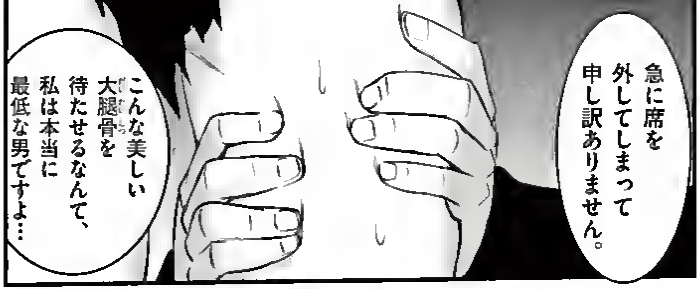
それでは
これでわたくし達は
失礼致します。
ええ、
またいつでも
遊びにいらして
ください。
はい。
勇者様も
また来てねー！
二度と来ねーよー
バーカバーカ


……
先生！
遊んでよー！

ごめんなさい。
先生はこれから
お仕事を
しなくちゃ
ならないんだ…

ギィ
ガチャ

イオオオオ

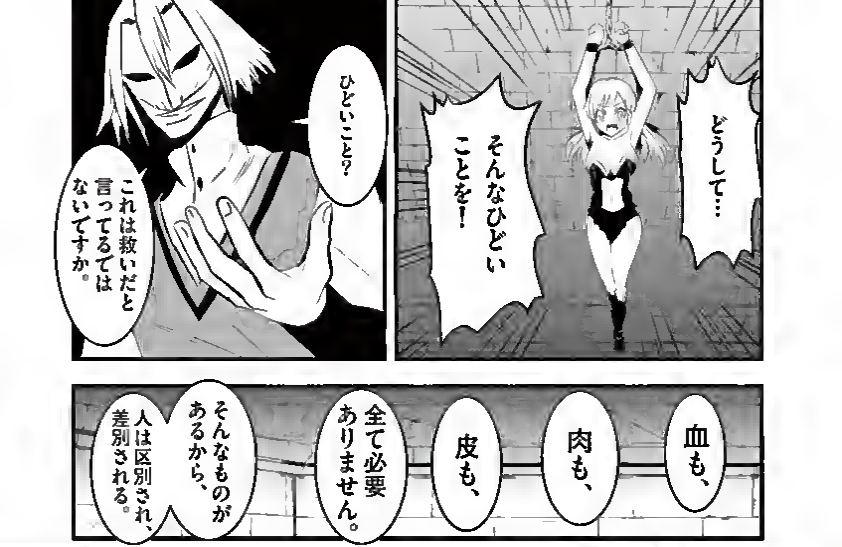

急に席を
外してしまって
申し訳ありません。
こんな美しい
大腿骨を
待たせるなんて、
私は本当に
最低な男ですよ…

やめてください…ッ！
いったい
どういうつもり
なんですか!?
リーランドさん！

私はね、
透視の魔術が
使えるんですよ。
貴方のような
美しい大腿骨は
見たことがない。
本当に素敵です。
第16話▶救い

いや！
触らないでよ！
変態！
うるさいですね…
私は貴方を
救おうと
しているのですよ？
救う…？
ええ…

貴方のその、
けがれた肉を
そぎ落とし、
骨だけの
純粋な存在にして
あげようと…ね。
骨だけ…！
私を救すって
こと!?
大丈夫、
怖がることは
ありません。
貴方だけでは
ありませんから。
二日後の
仮面祭の夜、
私の愛する
骸骨達と共に、
姫と…
救いを求める
大勢の人々を
迎えにいきます。
そして、
一斉に生まれ
変わるのです。

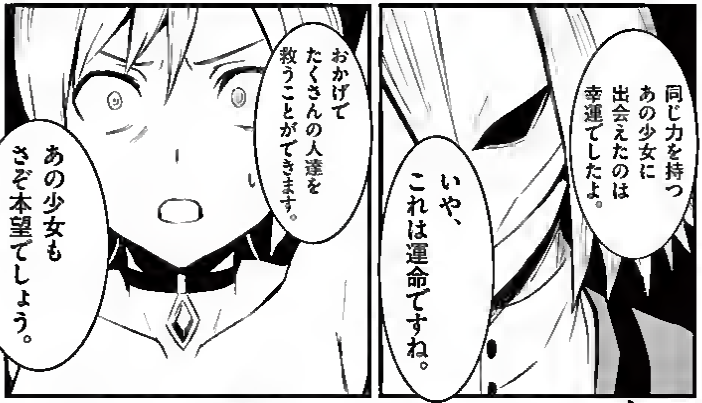

どうして…
そんなひどいことを！
ひどいこと？
これは救いだと言ってるではないですか。

血も、
肉も、
皮も、
全て必要ありません。
そんなものがあるから、人は区別され、差別される。

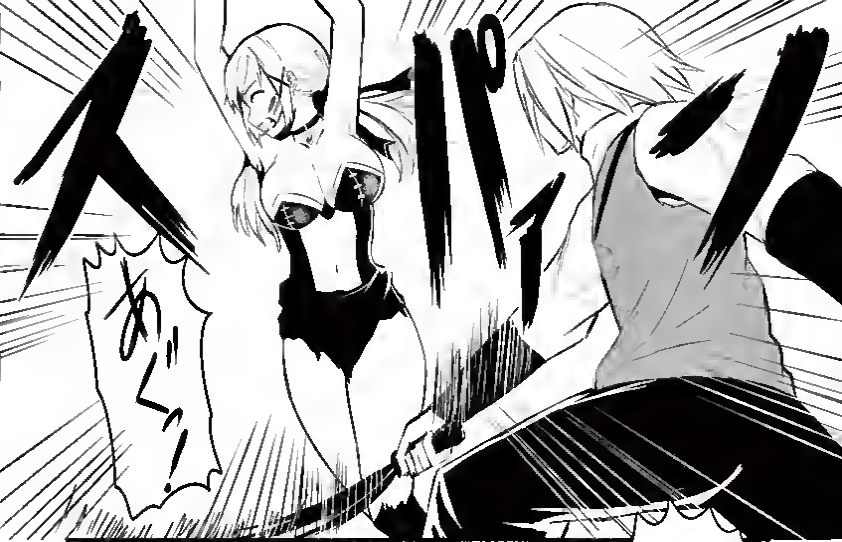
オオ
オオオ
それにホラ…
血肉を捧げれば悪魔と共存することだってできます——
地獄の門を封印せずとも真の平和が訪れるんですよ。

本気で…
そんな
馬鹿げたこと
言ってるの…？
貴方だって
屍術師の少女のことを
不憫だと
思いませんか？
外見だけで
差別されて。
骨を見れば
同じ人間だと
気づくのに。
まさか…
アンリちゃんを…
いえいえ、
ネズミ一匹すら
入れない部屋で
待機してもらってますよ。
彼女には
重大な役目が
ありますから。
役目…？
大勢の人が
行方不明になれば、
捜査が本格化し、
私にも危険が
及ぶかも
しれないでしょう？
だから
あの少女には
私の身代わりに
なってもらいます。

「私が屍術の力で
人々を誘拐し、
悪魔に捧げました」
…そう、
皆の前で語って
もらうのです。


同じ力を持つ
あの少女に
出会えたのは
幸運でしたよ。
いや、
これは運命ですね。
おかげで
たくさんの人達を
救うことができます。
あの少女も
さぞ本望でしょう。

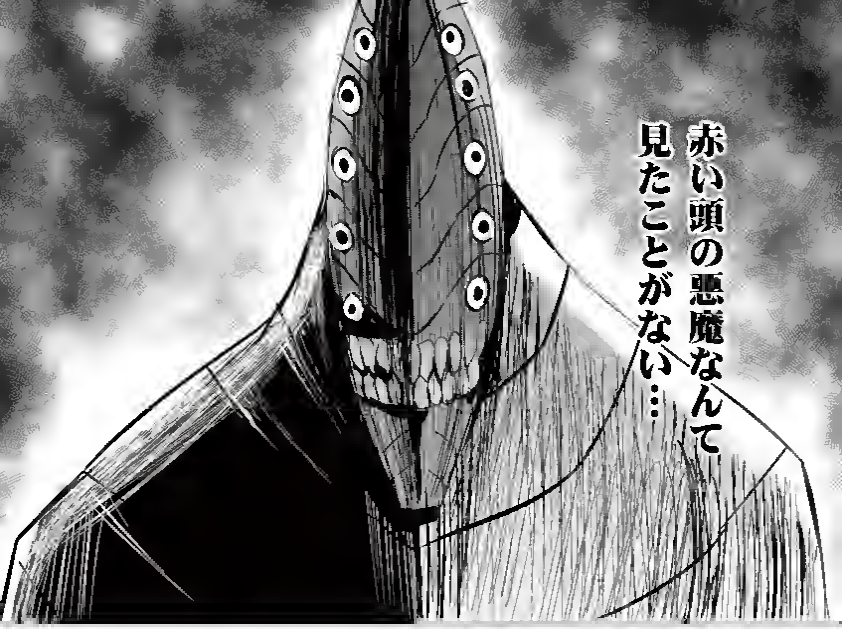
狂ってるわ！
あんた！
狂ってる！
そんなに
骨だけがいいなら、
自分一人で
なればいいじゃない！
あんたの狂った思想に
私達を巻き込まないで！


パァン
あぐっ！

私だって
耐えてるん
です！
パン
私だって
骨になりたいん
ですよおおおッ!!
でも、
私がいないと
誰も救えないじゃ
ないですかあッ!!

なんなのよ
コイツ…！
まったく話が
通じない…！
エー
でも、
トウカのおかげで助かったわ。

この装備…
完全に下着に間違えられてる！
肉体強化の魔術を使えば、
この鎖を
引きちぎるのは
容易だわ！
ただ…
今、行動に
移すのは危険ね。
見張りが
多すぎる…
何より
あの悪魔…


赤い頭の悪魔なんて
見たことがない…

耐えるのよ…
きっとチャンスは
来る…
そうよ…
トウカが
気づいて
助けに来てくれるかも
しれないし…

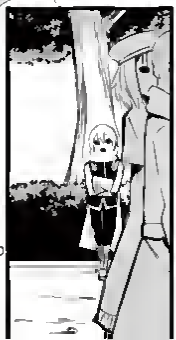
その頃トウカは…
なぜ、俺はこんな
重大なことに
気がつかなかった
んだ！

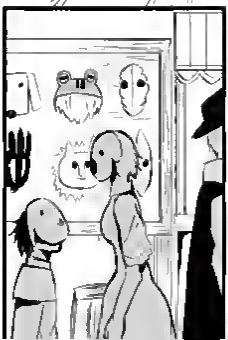
宝物庫から
直接宝を頂戴すりゃあ
良かったんだ！
いやー、
聖剣って
便利だなー！
ガチャリ
パカァ
鍵に変化
させりゃあ、
どんな宝箱も
ラクラク開錠よ！

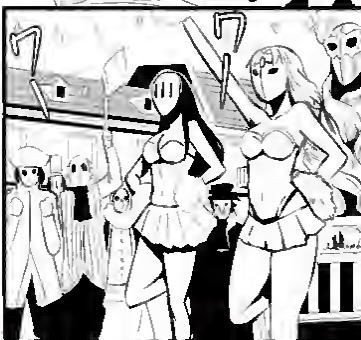
悪いなゴリラ。
こいつは
世界を救うための
必要経費なんだ。
ニヤァ
それに元は俺達
国民の血税！
国民を代表して
有効に利用
させてもらうぜ。

ククク！
待ってろよ。
フトモモ美少女たち！
今すぐ行くからな！
今夜は豪遊だ！
ユナ達のことを
すっかり忘れていた。

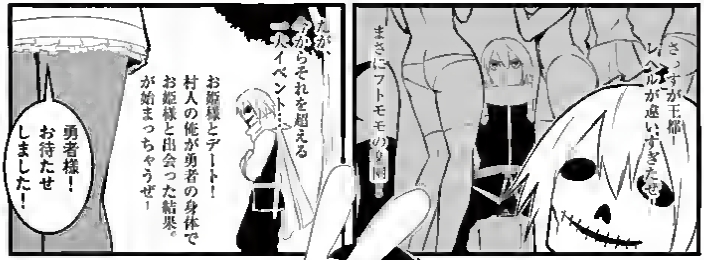
二日後――

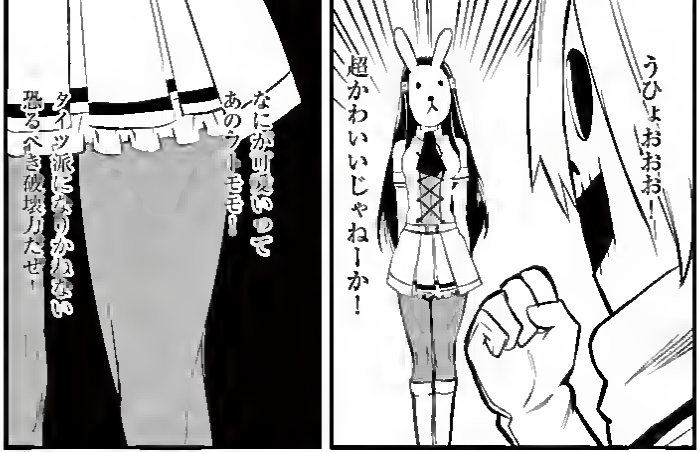






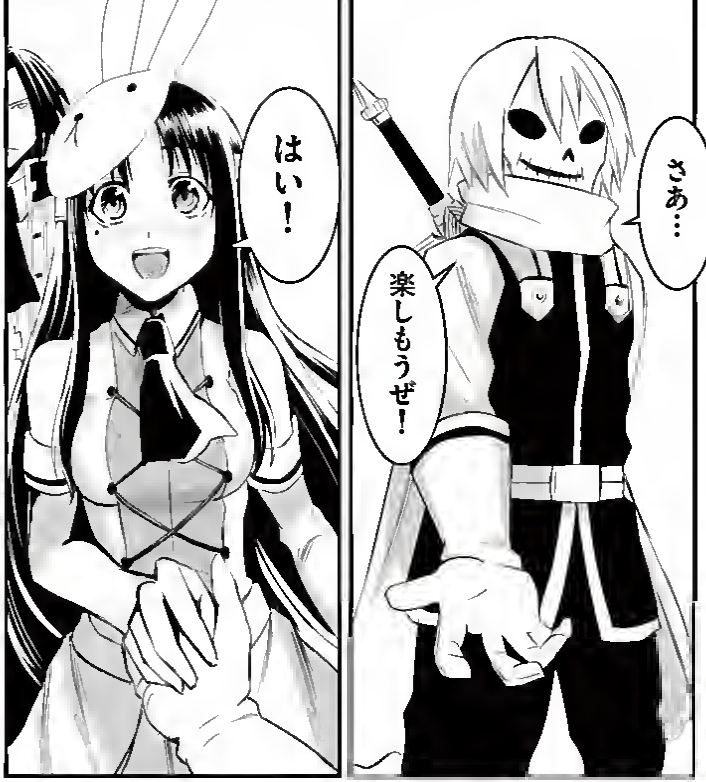
いやー、
昨日と一昨日は
最高の夜だったな。

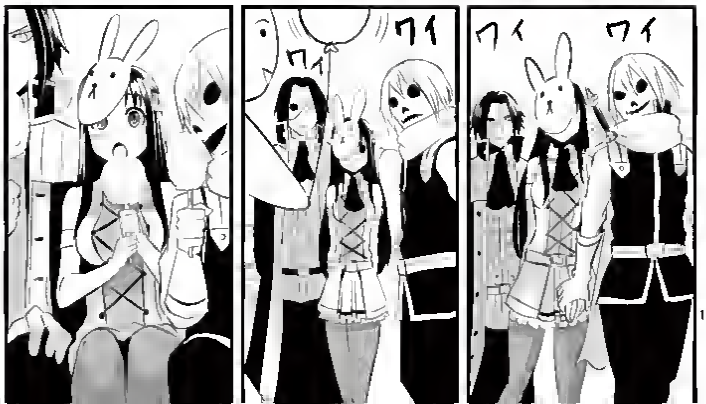

さっすが王都！
レベルが違いすぎたぜ。
まさにフトモモの楽園
だが、
それを超える
大イベント…
お姫様とデート！
村人の俺が勇者の身体で
お姫様と出会った結果。
が始まっちゃうぜ！
勇者様！
お待たせ
しました！


うひょおおお！
超かわいいじゃねーか！
なにが可愛いってあのフトモモ！
タイツ派になりかねない恐るべき破壊力だぜ！

あ…あの…
勇者様…
もしかしてわたくしの格好変ですか…？
いやー、何着ても可愛いなーって思ってな。
か…
かわっ……！

あ、あの…
ゆ、勇者様こそ…
素敵だと思います…
グイッ

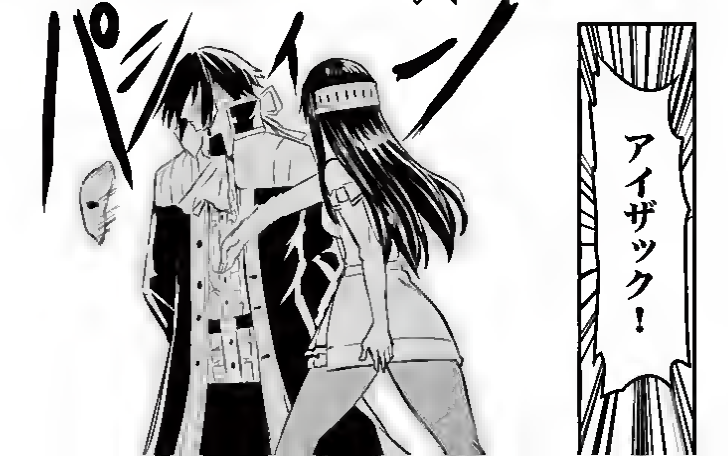

さあ…
楽しもうぜ！
はい！


ワイ
ワイ
ワイ

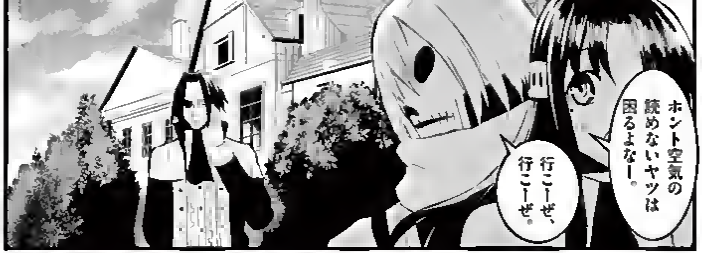
…って、
なんでアンタまで
ついて来てんだ！
姫様の教育係として
当然だ。

アイザック！
今日は二人きりに
してくださいと
言ったではないですか！
勇者様が
側にいて
くださるから
平気です！
ですが
姫様の身に
何かあったら…

勇者め…
貴様が夜中に歓楽街で
遊んでいたことは
耳に入っているんだぞ…
いや、
その勇者が
おかしなことを
してかすかも。


アイザック！
パシィン

ひ…
姫様……！
ガラン
ガラン
わたくしの
将来の夫を
侮辱することは、
いくら貴方でも
許しません！
…かしこまりました…
15


ホント空気の読めないヤツは困るよなー。
行こーぜ、行こーぜ。

姫様…
そこまで本気なのですね…

だが、あの男はやはり3年前とは違う…
このまま引き下がるわけにはいかない…！
姫様を玩ぶような真似、このアイザックが断じて許さないからな！

16

第17話▶勇者は死んだ。
視える…
視えるぞ…
これより九度の冬を越えたのち
聖剣の勇者が覚醒する未来が…！
それは真か！
この宮廷魔術師ラザルの予言は絶対じゃ。

やはり
王家の未来のために
勇者の血が必要。

しかし、
第一王女は
北のアラード王国に、

第二王女は
東のロゼリア王国に
それぞれ嫁ぐことが
決まっております。

ならば
第三王女に…

うわあああああん

ただのかすり傷ですよ。

まったく…
姫様は本当に
泣き虫なのですから。

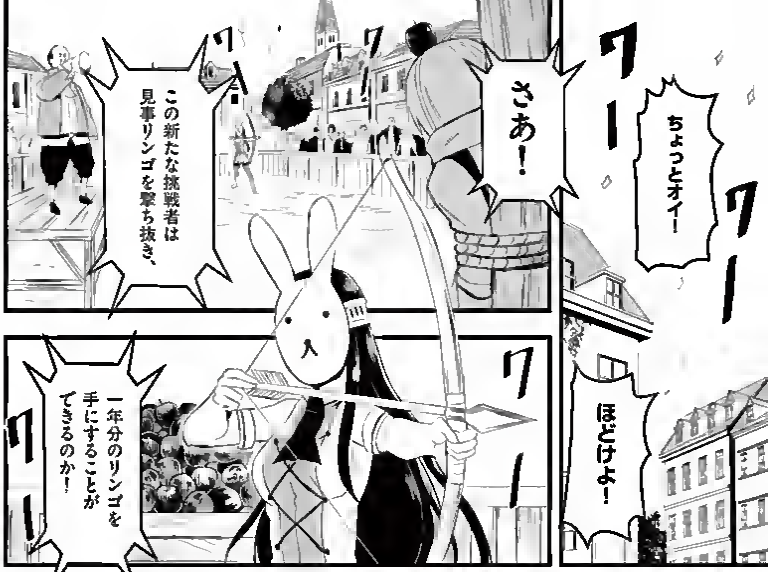
だって…

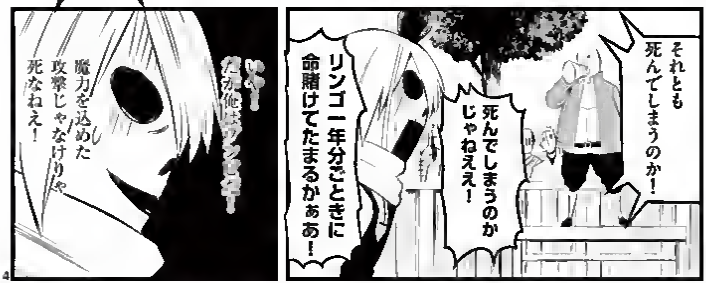
ひっく…
痛いんだもん…

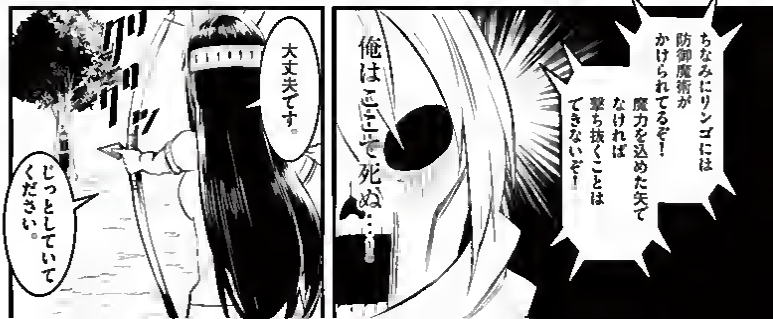
アイザック！

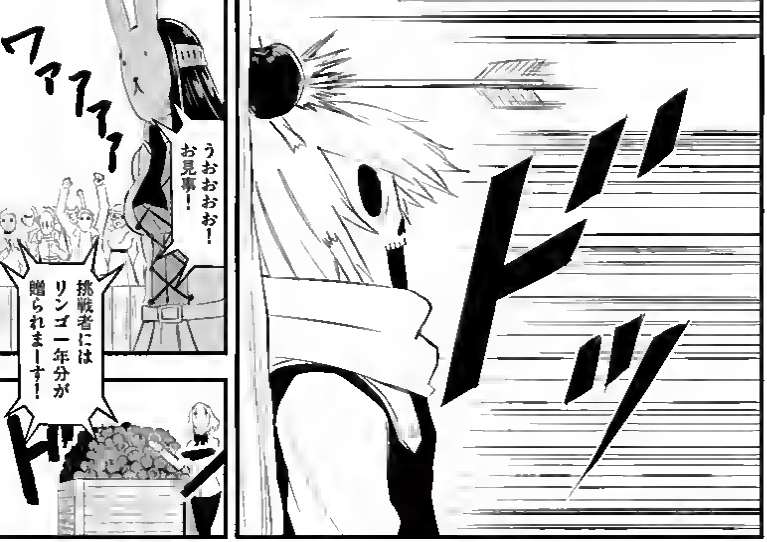
正気ですか！
陛下！
亡き王妃の遺言を
お忘れですか！
マルグリット様だけは
自由奔放に
育てて欲しいと…！
強い子に育てるのだ。
勇者の子を育てるに
ふさわしき強い母に…！
3

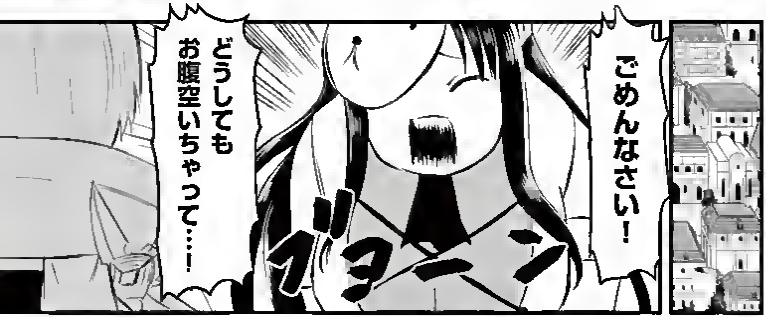
第17話 ▶ 勇者は死んだ。


ちょっとオイ！
さあ！
この新たな挑戦者は見事リンゴを撃ち抜き、
ワー
ワー
ワー
ほどけよ！
一年分のリンゴを手にすることができるのか！
ワー
ワー


それとも死んでしまうのか！
死んでしまうのかじゃねえ！
リンゴ一年分ごときに命賭けてたまるかぁあ！
いや俺はリンゴを
魔力を込めた攻撃じゃなけりゃ死なねえ！


ちなみにリンゴには防御魔術がかけられてるぞ！
魔力を込めた矢でなければ撃ち抜くことはできないぞ！
俺はここで死ぬ……
大丈夫です。
じっとしていてください。

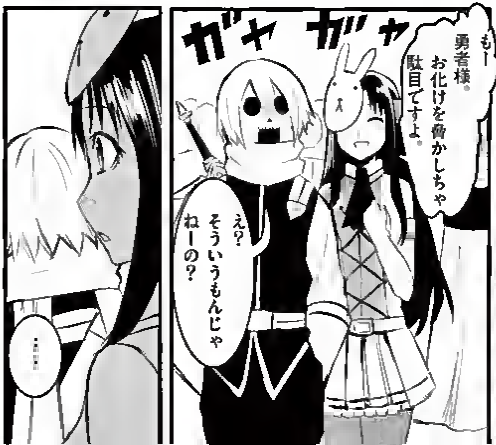

ドッ
うおおお！
お見事！
ワァァァ
挑戦者には
リンゴ一年分が
贈られまーす！
ドン

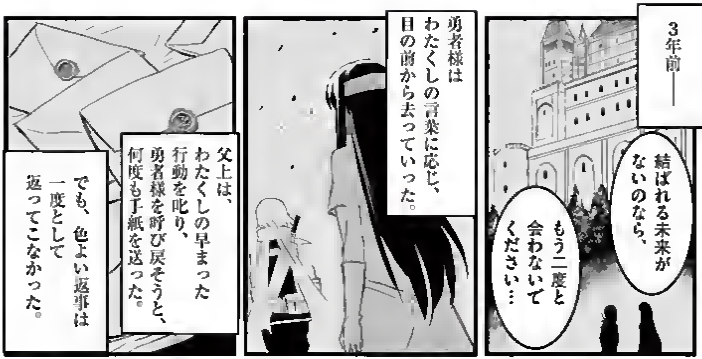

ごめんなさい！
どうしても
お腹空いちゃって…！
グヨーン

ま、まあ…
また倒れられるのも
困るからいーけどよ…
大食い大会とか
もっとマシなの
あったんじゃ
ねーのか…
ご…
ごめんなさい…
だいたい…
あの催し物、
即刻中止にすべきだろ…
ワー
ワー
死人何人
出す気だよ…

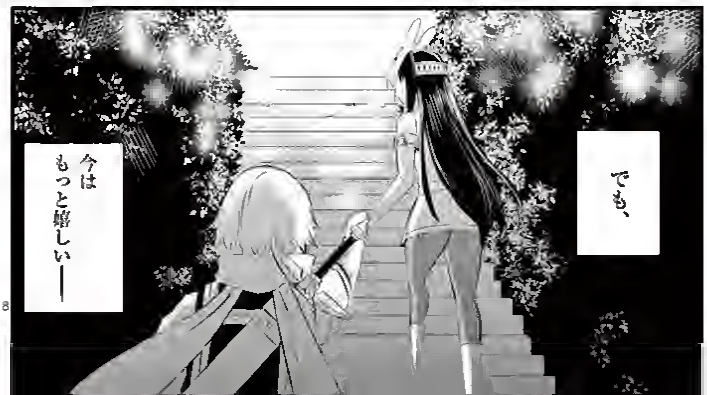
それはそうと…
絵だけじゃなく
弓も得意
だったんだな。
はい。
王女として
当然の嗜みです。
当然って…
流せるレベル
じゃねえって、
素人の俺に
だってわかるぜ？
地震か!?
はい、幼少の頃から
毎日のように、
教わって
きましたので。
学問も武芸も
芸術も
礼儀作法も…
ズシーン
ズシーン
ヤベェ
マジかよ…
王族ってのも
大変なんだな…
俺だったら速攻
逃げ出してるぜ。
すべて…
貴方と結ばれる
ためです…
へ？
いえ！
今日は楽しませて
くださいね！
ズカカン
チ…

アイザックめ…
デートの監視なんて
くだらん仕事を
押し付けて…
しかし…
シオンの
あの顔…
どう見ても
骨がしゃべってる
ようにしか
見えんのだが…

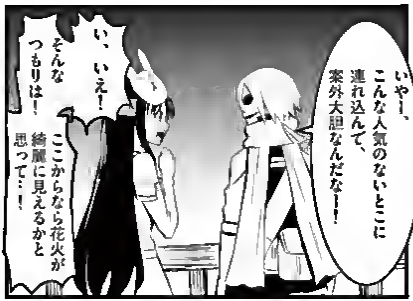

あー、
おかしかった！
ガヤ ガヤ
もー
勇者様。
お化けを脅かしちゃ
駄目ですよ。
えぇ？
そういうもんじゃ
ねーの？
……


3年前——
結ばれる未来がないのなら、
もう二度と会わないでください…
勇者様はわたくしの言葉に応じ、目の前から去っていった。
父上は、わたくしの早まった行動を叱り、勇者様を呼び戻そうと、何度も手紙を送った。
でも、色よい返事は一度として返ってこなかった。

それでも、勇者様にふさわしい女性になるための、厳しい教育は続いた。
そのせいでわたくしは、一日たりとも勇者様のことを忘れられなかった。
だから、こうして再会し、結婚を承諾してくれた時は、本当にうれしかった。
これでようやく王女としての義務が果たせるのだと——


でも、
今はもっと嬉しい——

今のわたくしは
王女としての
義務ではなく…
一人の女性として
貴方のことを……


いやー、
こんな人気のないとこに
連れ込んで、
案外大胆なんだなー！
い、いえ！
そんな
つもりは！
ここからなら花火が
綺麗に見えるかと
思って…！

で…
でも…
貴方が
そんなつもりなら…
わたくしは…

オオオオ
この表情！
今なら
いける…！
今ならそのフトモモに、
ニーソを履かせても
怒られねえ…！

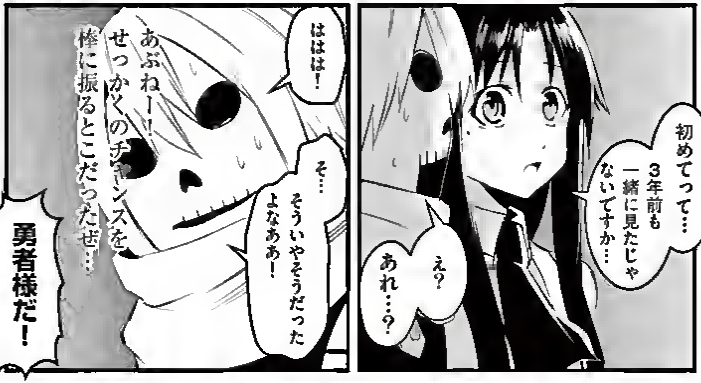
うおお！
びびった！
フィナーレですね。

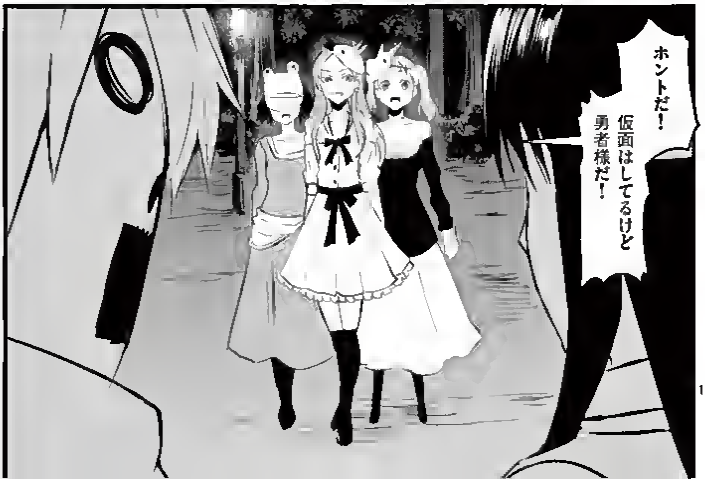
美しい花火の下で、
見知らぬ男女が手を取り…
ダンスをしながら
言葉を交わす。

そうやって身分や
外見に左右されない、
心と心で繋がれる
運命の相手を探すのです。

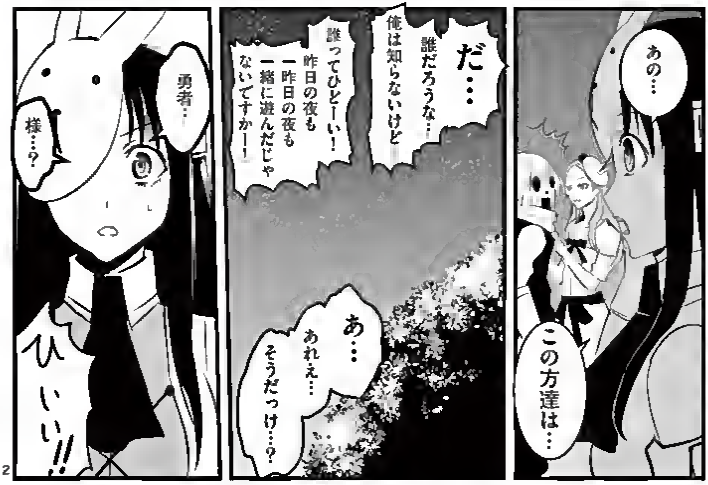
はあ？
外見に左右
されないって、
フトモモ
隠してなきゃ
意味ねーだろ。
そ…
それは勇者様
だけなのでは…

ヒュルルルル
パーン
パーン
にしても綺麗だなー！
花火なんて生まれて初めて見たぜ！
え…？

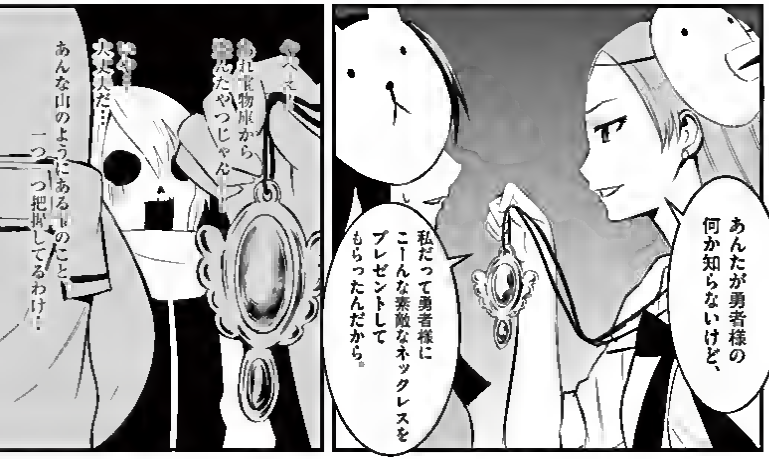

初めてって…
3年前も一緒に見たじゃないですか…
え？
あれ…？
ははは！
そ…
そういやそうだったよなああ！
あぶねー!!
せっかくのチャンスを棒に振るとこだったぜ…
勇者様だ！


ホントだ！
仮面はしてるけど勇者様だ！

ねーえ。
今夜も遊びに来てくれるんでしょう？
ま…
まずい…！
この女の子達は…！
クク
歓楽街で貴様が遊んだ女性達を連れて来てやったぞ
さあ
どうする？

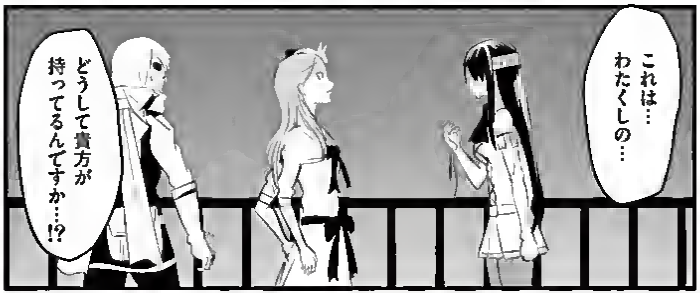

あの…
この方達は…
だ…
誰だろうな…俺は知らないけど
誰ってひどーい！昨日の夜も一緒に遊んだじゃないですかー！
あ…
あれえ…
そうだっけ…？
勇者様…？
ひいいい!!

あ…
遊んだってあれだぜ？
ト…トランプとかて
遊んだって意味だぜ…？
ほ…
ほら…
俺の身体骨じゃん！
やましいことなんて
そもそもできるわけ…
誰？
その女ー。


あんたが勇者様の
何か知らないけど、
私だって勇者様に
こーんな素敵なネックレスを
プレゼントして
もらったんだから。
入ってー
倉庫から
盗んだやつじゃん
大丈夫
大丈夫だ…
あんな山のようにある中の
一つ一つ把握してるわけ…

フッ
チィ

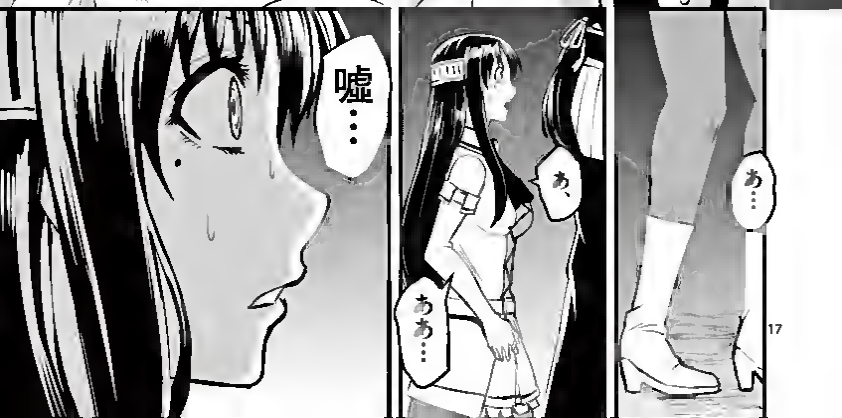
ちょっと何すんのよ…
…王女…
様…？


これは…
わたくしの…
どうして貴方が
持ってるんですか…!?

ますいヤツ
渡してた――!!
違和感は
感じてました…

話し方も態度も3年前とは違う…
でもそれは、わたくしとの距離を縮めようとしてくれているからだと…
そう思っていました。
だけど…
勇者様はどんな事情であれ…
夜遊びをしたり、まして盗みを働くような方ではなかった！
勇者様…
貴方はいったい何者なんですか？
それに、3年前のことをまるで覚えていないようですし…
ドン
これじゃあ本当に別人…
ドン
ザワ
化けの皮がはがれたな！

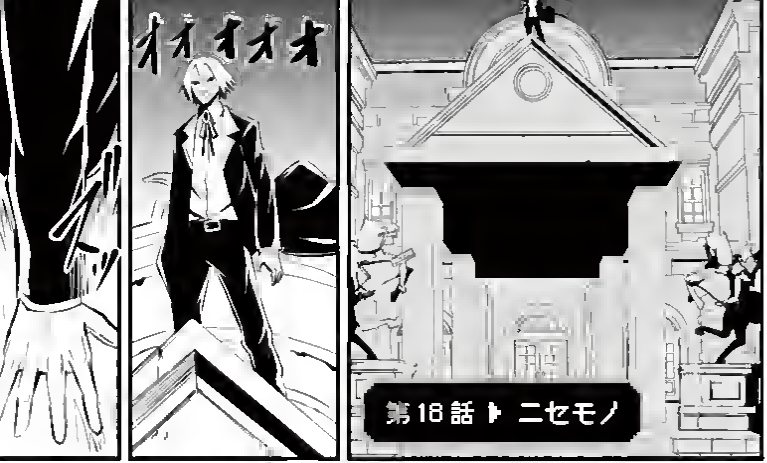
眼帯野郎……！
それになんだあのムチムチフトモモお姉さんは…！
ガッ
大胆！
まさか俺のファン……！
いやー、悪いねお姉さん…積極的なアプローチは嬉しいが、今はちょいと取り込み中でね…
黙れよカス。
カス…
これは本当に骨じゃないか…
ついさっき宮廷魔術師に訊いてきてね…
骨が動く魔術は存在するのかと。
で、
一つだけあった。

屍術（ネクロマンシー）。
コイツの中身は偽者。
「勇者は死んだ」ってことだ。

嘘…
あ、
あ…
あぁ…

パーン
パーン

ザッザッ
ザッザッ

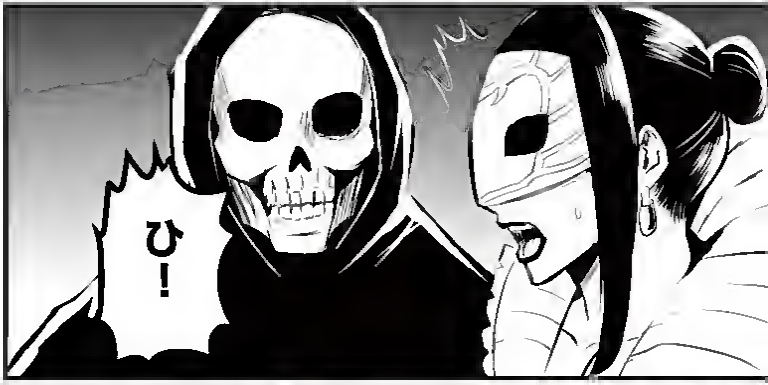
さあ、
救いましょう！
オオオオ


オオオオ
第18話▶ニセモノ

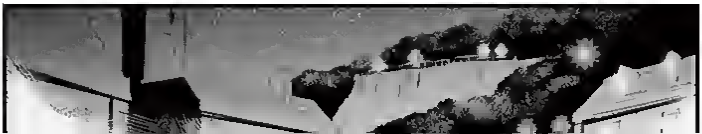
こちらが中級悪魔レクシアのはく製になります。
その巨大な体躯から繰り出される攻撃の数々に、流石の勇者様も苦戦を強いられたといわれてます。
ほげー。
今にも動き出しそうじゃのー。

ほげ?!!

トン
トン
なにやら騒がしいですわね。何かあったのかしら…？
キャーアアア!!
ワアアアア!!


ひ！

あ、あらまあ！
あまりに精巧な仮面でびっくりしましたわ！
素敵！まるで本物みたい！
ダンスのお誘いですの？
あら！
どこに行かれますの？

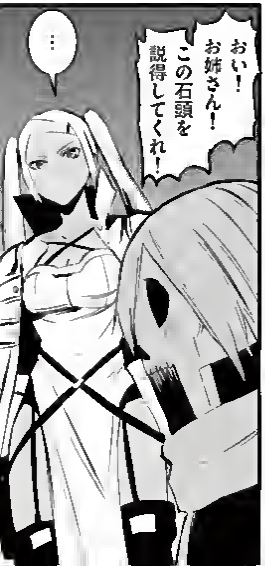


勇者が
穴に落ちて
死んだ…
か…

いや…
だが
ヤツなら
ありうるな
好物の肉の前では
いつもスキだらけ
だった

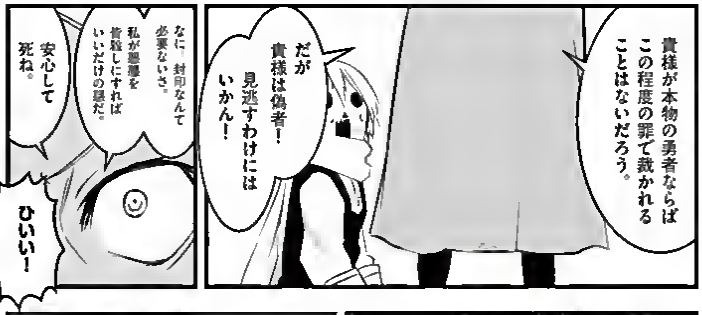
あいつが勝手に
落ちて死んだんだー
だから仕方なく
俺が代わりを
やってるだけで…
信じられるか！
そんな話！

いやー、
わかって
くれたかー！
ドジな勇者の
尻拭いを
してやってんだぜ。
むしろ感謝して
欲しいくらいだぜ！
ポッ
ふざけるな！


おい！
お姉さん！
この石頭を
説得してくれ！
…

禁術を使用した上に、
勇者になりすまし
蛮行を働いたのだー
それだけでも
死罪に値するー
死罪って！
俺がいなけりゃ
地獄の門は
封印できねーんだぞ!?

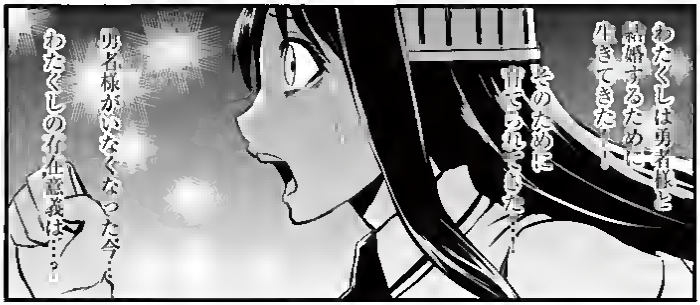
死罪だ。
お姉さんまで！

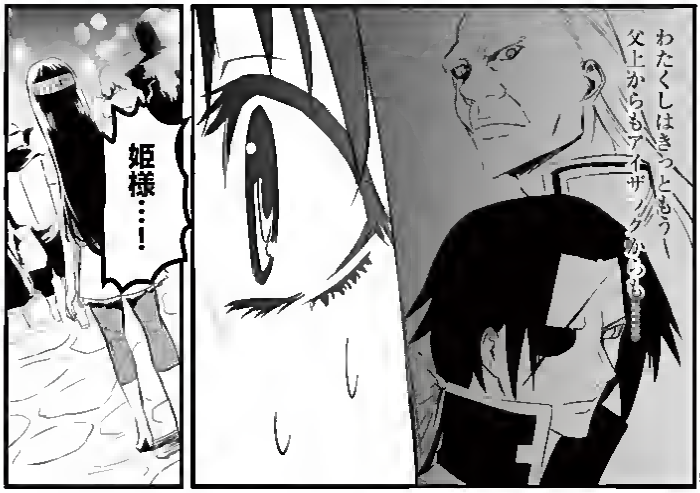

貴様が本物の勇者ならばこの程度の罪で裁かれることはないだろう。
だが貴様は偽者！見逃すわけにはいかん！
なに、封印なんて必要ないさ。私が悪魔を皆殺しにすればいいだけの話だ。
安心して死ね。
ひいい！

待ってくれ！
俺たって純粋で心優しい姫様を傷つけたことは反省してるんだ！
だからチャンスを！
断罪するチャンスをくれー
なるほど。一番の被害者である姫様に処遇を決めてもらおうというわけか。
だが姫様とて我々と意見は…

姫様…？

勇者様が死んだ…！
勇者様が死んだ…！！

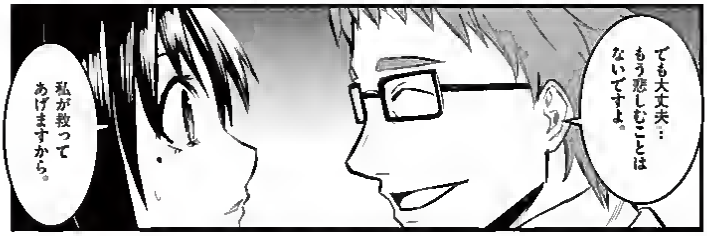

わたくしは勇者様と結婚するために生きてきた！
そのために生まれてきた…！
勇者様がいなくなった今…
わたくしの存在意義は…？


わたくしはきっともう…
父上からもアイザックからも…
姫様…！

ここにいましたか…
捜したんですよ…
わたくしを…？

先生！

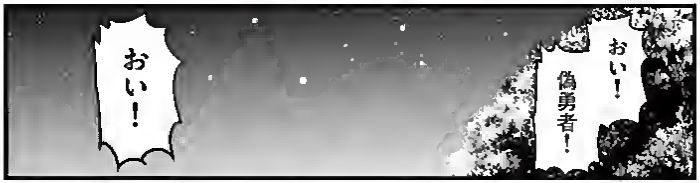
ああ、
どうしたんですか…
そんなに悲しげな
表情を浮かべて…
それは…


でも大丈夫…
もう悲しむことは
ないですよ。
私が救って
あげますから。

そうだ、先生なら…
つらい積古や
お勉強の毎日でも、
リーランド先生だけは
いつも
優しくしてくれた。
先生なら
わたくしを
救ってくださる。

落ち着け。
シルエラ様！
祭りの間は騎士団総出で警備に当たっている。
何があっても。
くッ…
行方不明者が急増しているこの時期に…！
早く見つけ出さないとまずいぞ！
街に…
街に悪魔が出現しました！
ななな…！
何をやっている！
なぜ侵入を許した！
それが。
急に街の中心に現れて…！
つまらん言い訳を…！
ファロム騎士団の面汚しが！
ドゴッ

おい！
貴様！
どさくさに紛れて逃げる気か！
はあ!?
逃げるかよ！
俺は姫を連れ戻す！
他の場所にも悪魔が侵入してるかもしれねーだろ！


おい！
偽勇者！
おい！

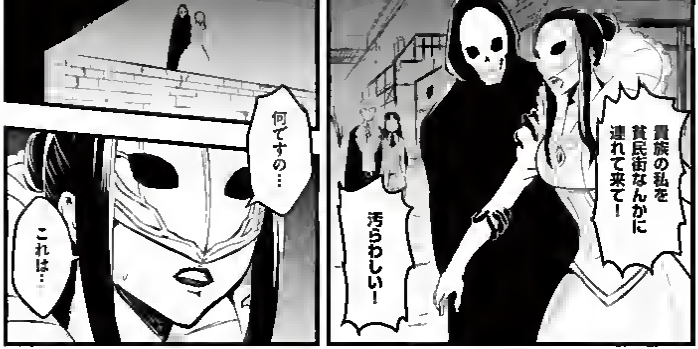
先生…
ここは…
貧民街です。
可哀相だとは
思わないですか？
貧困にあえぐ者達を。
救ってあげたいとは
思いませんか？

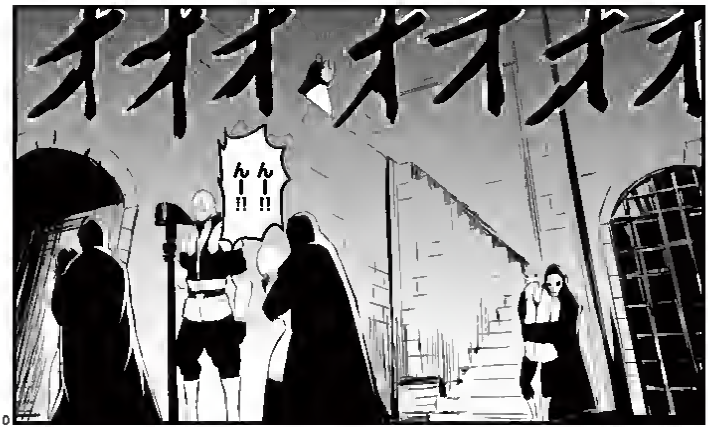
大丈夫です。
みんな私が
救いますから。

それは…
わたくしが
勇者様と
結婚し発言力が
高まれば。

いえ…
わたくしには
もう…

もちろん姫様も、
王女としての重圧から
解放してあげましょう。
え…？
どういうことです!?


貴族の私を
貧民街なんかに
連れて来て！
汚らわしい！
何ですの…
これは…


ん！！
ん！！

あの女性は
私の元患者です。
くだらない価値観から
解放してあげようと
思いましてね。

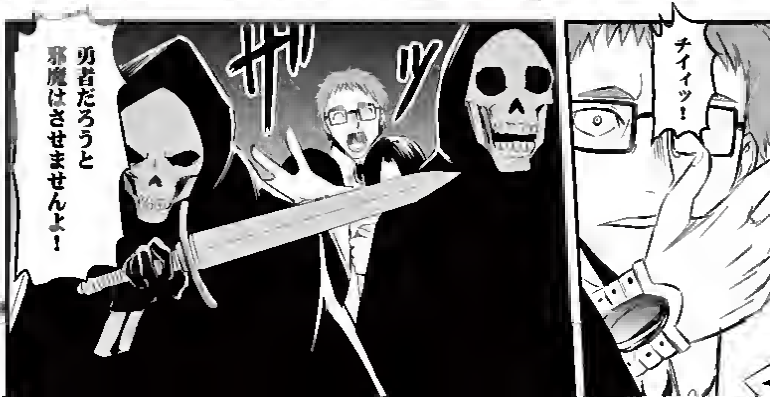
は…
放しなさい……！
た…
助け……！

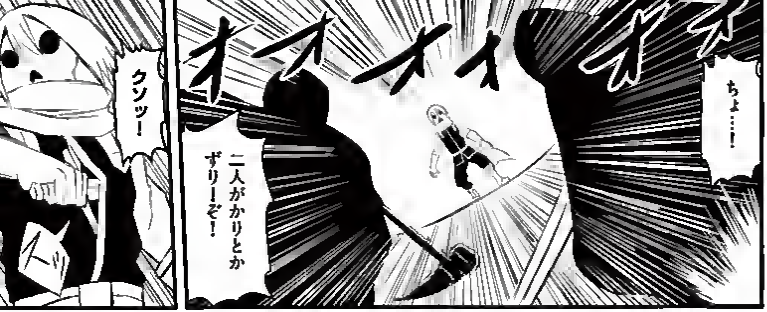
もちろん、
姫様のことも
ずっとお救いしたいと
思っておりました！
せ…
先生…！
血も肉も皮も…
すべて私が
はぎ取り、
しがらみから
解放してあげたいと
思っておりました！
放してください…！
先生！
マルグリット…！

ハア
ハア
テメーは孤児院の…

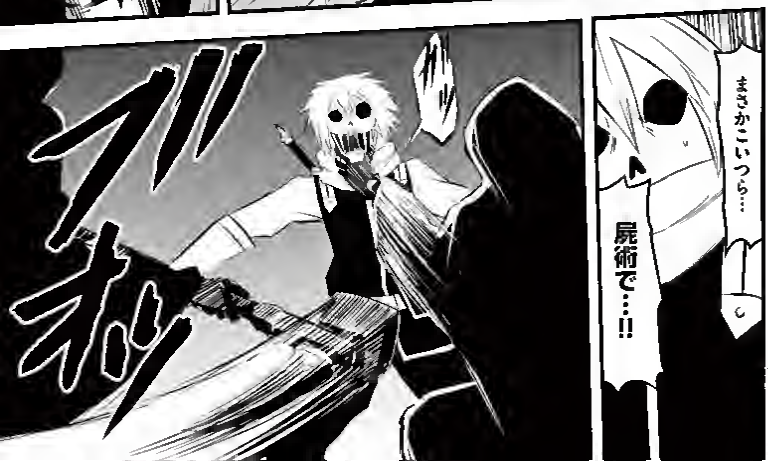
クソ…
まさか…勇者…!?
どうして貴方が……!

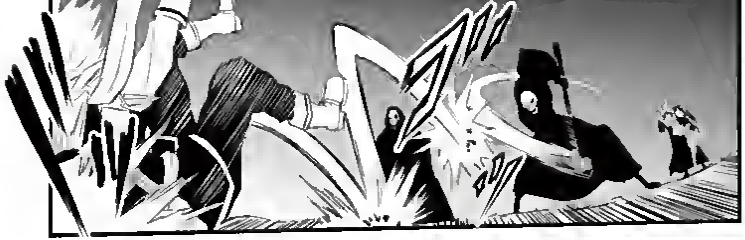
おい、テメー！マルグリットをどうする気だ！
放しやがれ！


勇者だろうと悪魔はさせませんよ！
チィィッ！


ちょ…!
二人がかりとかずりーぞ!
クソッー

骨…!?


まさかこいつら…
屍術で…!!



あれ…
誰い…

ははは…
なるほど。
今日は
仮面祭。
勇者を装った
偽者でしたか。

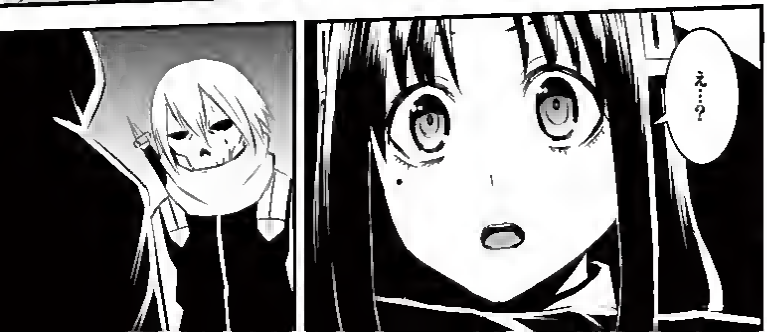
マルグリットを
放しやがれ…
クソ野郎…

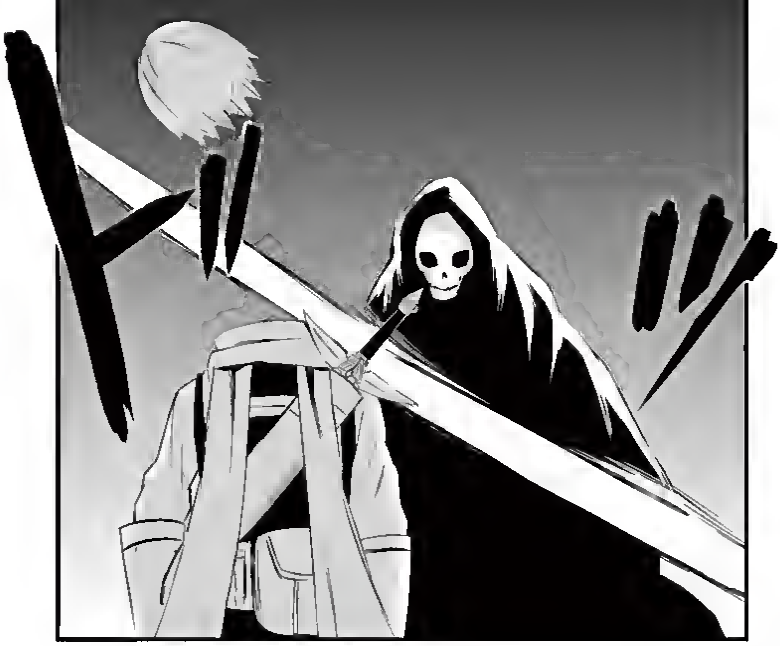
な…
何なのですか
貴方は…
なぜ…
助けようと
するのです…

なんで…
わたくしを
騙していた
貴方が…

は…
俺はいつもいつも
すぐ調子乗って
馬鹿なことやっちまうよ…
そんで結果、アンタを
スゲー傷つけて…
最低のクズ野郎だなって
自分でも思うぜ…
だけどな…

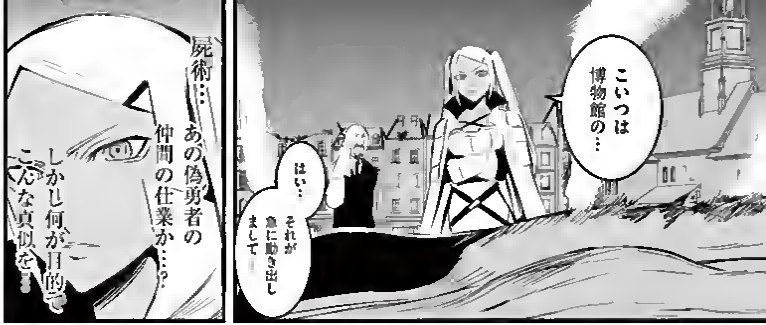
アンタみたいな良いヤツを
見捨てられるほど、
俺は腐ってもいないんでね…

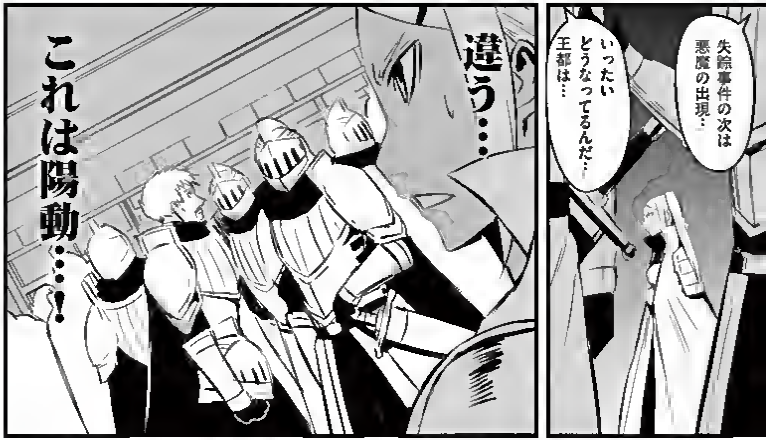

え…？

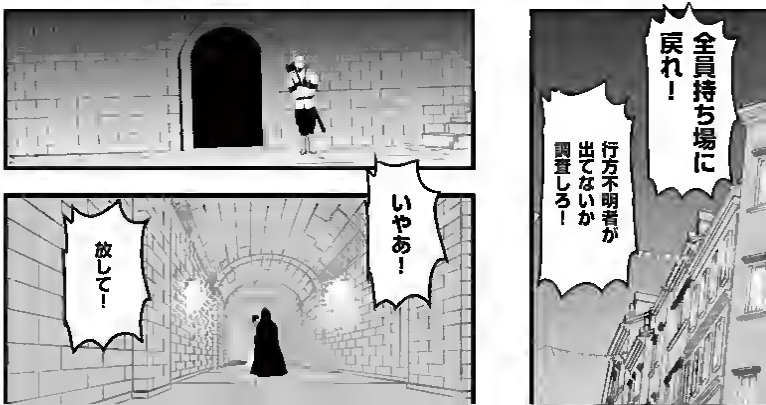


勇者様――!!
ゆ……!
ドサッ

ゴォオオオオオオオ
第19話▶棚上げ力
おお！
さすがは四騎士様だ！


こいつは博物館の…
はい…それが急に動き出しまして
屍術…あの偽勇者の仲間の仕業か…？
しかし何が目的でこんな真似を…


失踪事件の次は悪魔の出現…
いったいどうなってるんだ…王都は…
違う…
これは陽動…！


全員持ち場に戻れ！
行方不明者が出てないか調査しろ！
いやあ！
放して！

いやだ！
助けてくれー

この声…
もう何人も連れてこられてるのね…
急がないと…
オレ…
持ちキレナイ
トレ喰うか
遊びに行く。

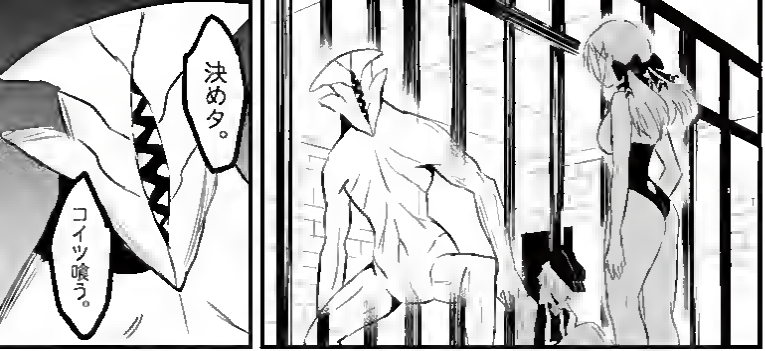
あと…
マカセタ。

一人…
ようやくね…

さ、俺達もそろそろ行くっすか。
無駄な抵抗はしないでくださいね。
ああ、骨になっちゃうなんて残念だなぁ。
俺、お姉さんの見た目結構好みだったのに。
金っすかね。
あの人めちゃくちゃ金払いいいんすよ。
あんたは骨好きの変態じゃないのね…
じゃあ、どうしてリーランドに協力してるの…？
ああ、それと…
俺、人を騙すのが好きなんすよね。
真実を知った時の絶望に満ちた表情、
アレ見るの快感なんすよ。
だからお姉さんも、そういう表情見せて欲しいっすね。
これから死ぬんすから。

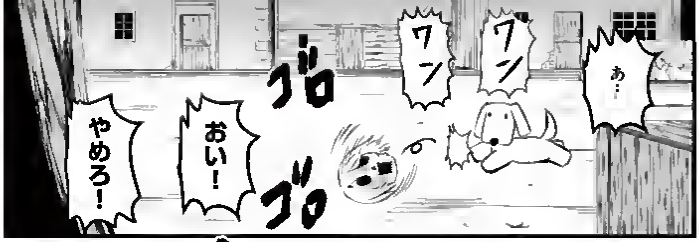
あれ？
なんで笑ってるんすか？
それはね、
あんたがクズで安心したからよ。
覚悟しなさい。
これからあんたをボッコボコにするから。
え？
〝肉体強化〟！
（アイン・グレンデル）

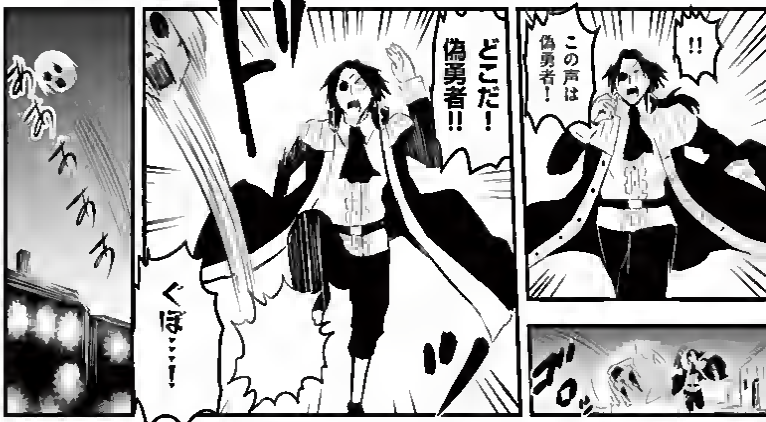
何ダ…
今の音…
!!

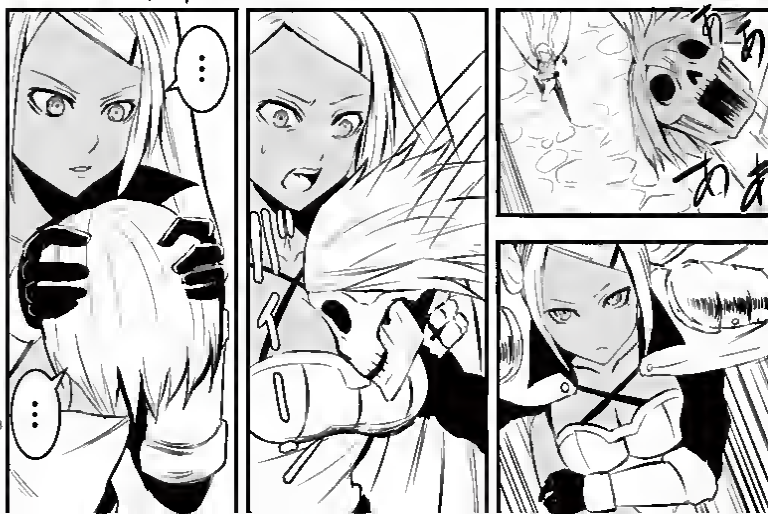

決めタ。
コイツ喰う。

ぐ…
オオオオオオオオ

ワン
ワン
ゾンビの身体スゲーな…
今回ばかりは死んだと思ったぜ…
生きてる…


あ…
ワン
ワン
ゴロ
おい！
やめろ！
ゴロ

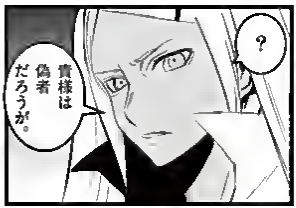

!!
この声は偽勇者！
どこだ！偽勇者!!
ドン
ぐぼ…！
あわわわわ
ゴッ


…
…
あわ
あわ

ああ――!!
オラーン
リーランド先生が姫様を…!?
ああ、
マルグリットはそっから地下に連れて行かれちまった…
くっついた…
嘘をつけ！貴様の仲間の屍術師の仕業だろう！さては我々を騙して罠にはめる気だな！
首落としてまで騙すかよ！
めちゃくちゃ痛えんだぞ コレ！
姫様！
テメーらちょっと待て！
……

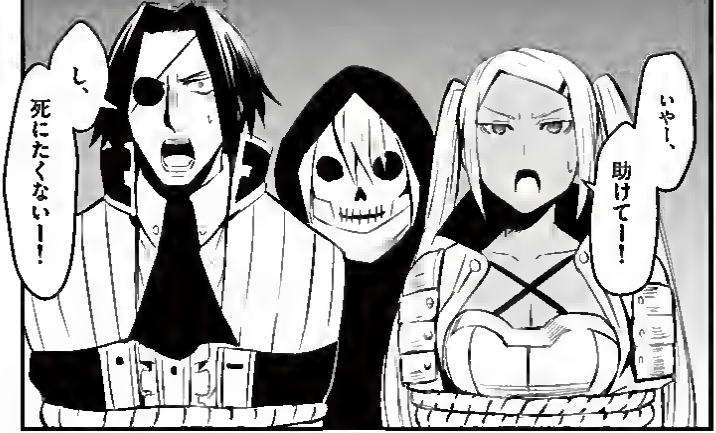
人質取られてる状況で突っ込んでんじゃねー!!
しかし…急がないと姫様が…
バレたら死体と再会する羽目になるぞ!
ぐ…

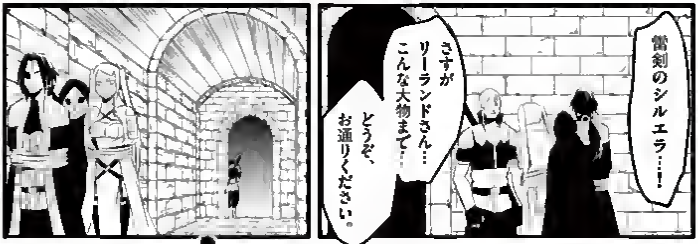
なあ、お姉さん。
俺が本物の勇者なら死罪を免れることができるんだよなぁ。


？
貴様は偽者だろうが。

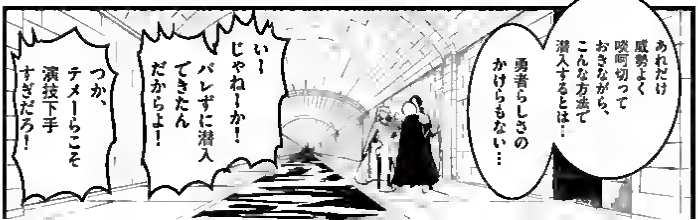
姫を救うのはいつだって勇者の役目。

なってやるよ本物の勇者に…
俺が姫を救ってやる…！


いやー、
助けてー！
し、
死にたくないー！


雷剣のシルエラ……！
さすが
リーランドさん…
こんな大物まで…
どうぞ、
お通りください。

ククク…
潜入成功！


あれだけ
威勢よく
啖呵切って
おきながら、
こんな方法で
潜入するとは…
勇者らしさの
かけらもない…
いい！
じゃねーか！
バレずに潜入
できたん
だからよ！
つか、
テメーらこそ
演技下手
すぎだろ！

しかし
あの見張りの
口振り…
やはり
リーランドが
黒幕というのは
真実か…
私の…
せいだ…
あん？
姫様が
魔漏症になったのは…
私が原因なのだ。
どういうことだよ、
オイ。
勇者の妻として
ふさわしい人間になるように、
私は姫様を厳しく教育してきた。
その甲斐あって、
泣き虫だった姫様は、
どんなにつらいことがあろうとも
涙ひとつ流さない
強い女性へと成長した。
だが…
そのストレスが原因で、
姫様は魔漏症を
患われたのだ。

そんな私を姫様は頼るわけがなく、

病を患ってからはリーランドに依存するようになった…

私はというと…あの男の本質を見極めようともせず…ただ、姫様に頼られなくなった事実から目を逸らし続けるだけだった。

私が…しっかり姫様を見守っていれば…

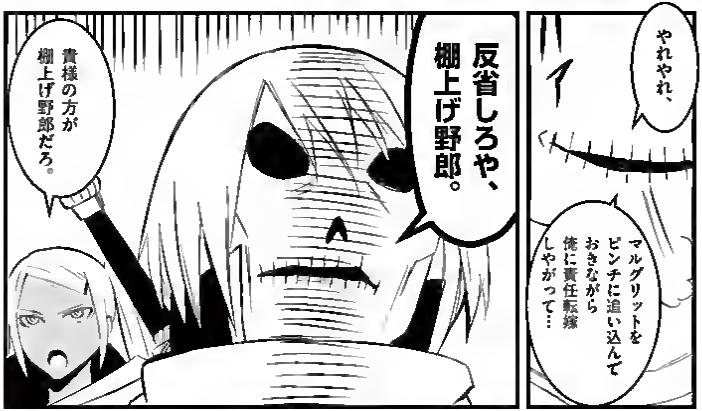
私は教育係失格だ…

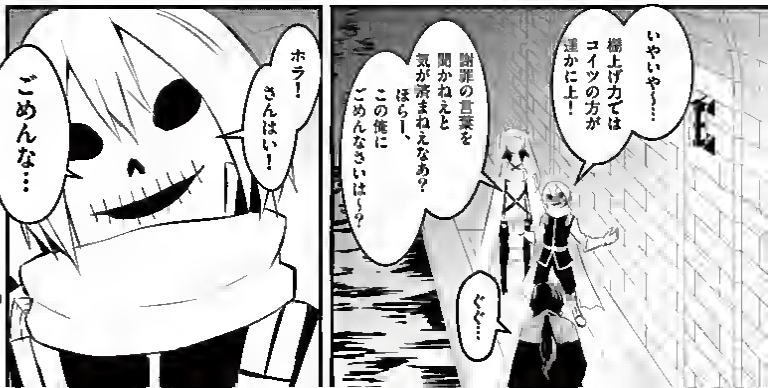
なるほどな。

つまり、今回の件は100%テメーのせいってわけだな。

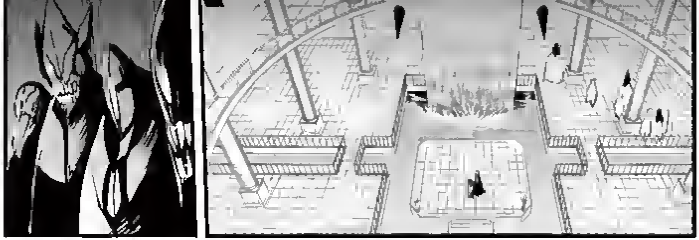
100%!?

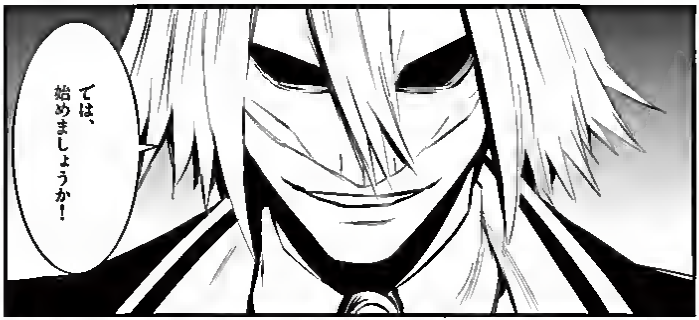
いやー、
ハナっから
俺に対して
敵対心剥き出し
だったのは
そういうわけか。
いや…
たしかに
悪いけど
100%なの
…？
マルグリットの病も
嫌われたことも
すべて勇者のせいに
してたってわけだろ？
テメーの教育が
間違ってたことを
認めずによお。


やれやれ、
マルグリットを
ピンチに追い込んで
おきながら
俺に責任転嫁
しやがって…
反省しろや、
棚上げ野郎。
貴様の方が
棚上げ野郎だろ。


いやいや…
棚上げ力では
コイツの方が
遥かに上！
謝罪の言葉を
聞かねえと
気が済まねえなあ？
ほらー、
この俺に
ごめんなさいは～？
ぐぐ…
ホラ！
さんはい！
ごめんな…

さいッ!!
ひいい!
何!? 何なの!?
調子こいて
すみませんでした!
ごめんなさいいい!
…って…
ユナ!?
トウカ!?




では、
始めましょうか！

オオオオオオ
救済の儀式を！

はあ…
助けに来てくれたと思ったのに…
私達を忘れて遊び呆けた挙句、王女様を危険に晒すなんて。
ホント最低ね、あんた。
ポン
待つんだ。

第20話 ▶ 花嫁

そうだ…私が！全て私が……！
おい…アイザック…しっかりしろ！
すー…ん

彼を責めるならこの私を責めろ。
元凶はすべてこの私なのだから。

ポン
待つんだ。

ホント
すみませんでした…
お礼に今、役立ててあげようかしら…
オオオオオ
い、いや～…
でも無事で良かったぜ。
どうやら俺がデザインした装備が役に立ったみたいだな。こりゃ俺が助けたようなもんだな！
そうね…

彼を殴るなら
この私を殴れ！
ホラ！
殴れ！
カモン！
このおじさん、
さっきから
気持ち悪いん
だけど！
さて…
そこの
お前…
姫様の居場所を
吐けば、
命は奪わないで
やるが。
どうする？
命あっての
モノダネっす
よね。

これ、
地下水路の地図っす。
王女様は
他の捕まった人達と一緒に
ここの広間に
連れて行かれてる
はずっす。
そんで屍術師（ネクロマンサー）の少女は――

ブルッ
ホーキ
3
ユナさん…
何かいつもより
イライラしてない？
そりゃ3日も
監禁されてた
のよ。
怒ってない方が
おかしいわ。

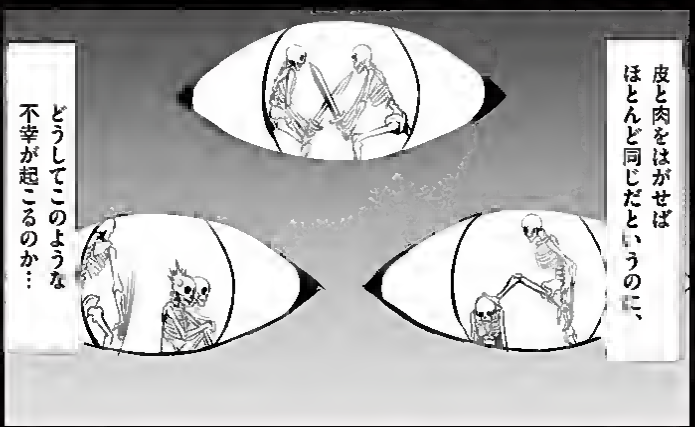
アンリ！
アンリちゃん！
トウカ殿！
ん
ユナ殿！
てろ
助けに来てくれると信じてたぞ！
どーーーん
汚え…
どうしたのだ？
早くほどいてくれぬのか？
じゃんけんぽん！
あいこでしょ！
なぜじゃんけんをしてるのだ？

救済の儀式…？
そうです。
今宵、ここに集まった者は皆――
一斉に骨だけの姿になるのです！
骨!?
死ぬことが救済だというのですか!?
ガッ

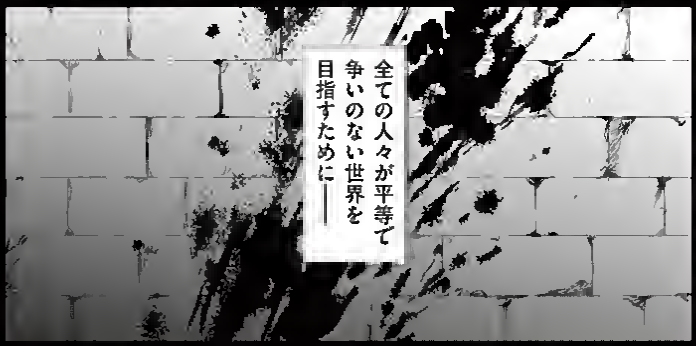
これは、古来より一族に伝わる「透視」の魔術が込められた魔晶石でしてね。
この力は、我が一族に医者としての地位と名声をもたらしました。
？
ですが――この魔晶石が与えてくれたのはそれだけではありません。

この魔晶石は私に
世界の真実の姿を
教えてくれたのです。

私は苦悩しました。
生まれの違いで争う人々――
家来をモノのように扱う貴族――
差別され貧困にあえぐ者達――

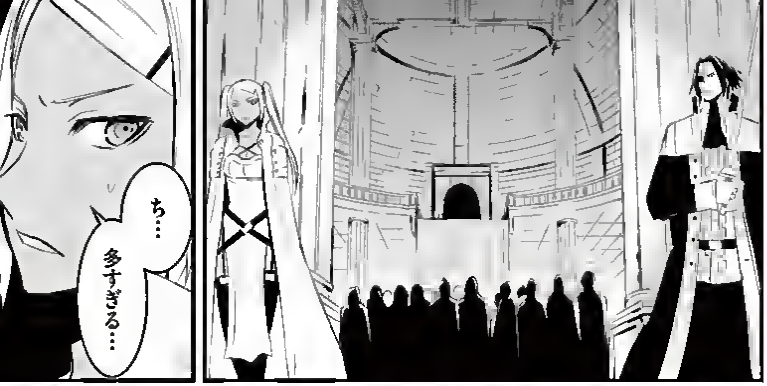

皮と肉をはがせば
ほとんど同じだというのに、
どうしてこのような
不幸が起こるのか…

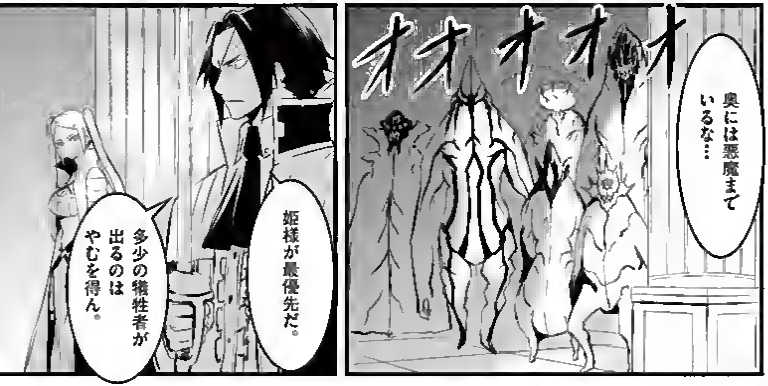
そんな私に
道を示してくれたのが
誰に対しても分け隔てなく
救いの手を差し伸べる
勇者シオンの姿でした。
私は感銘を受け
自分なりの方法で
人々を救うことを
決意しました。

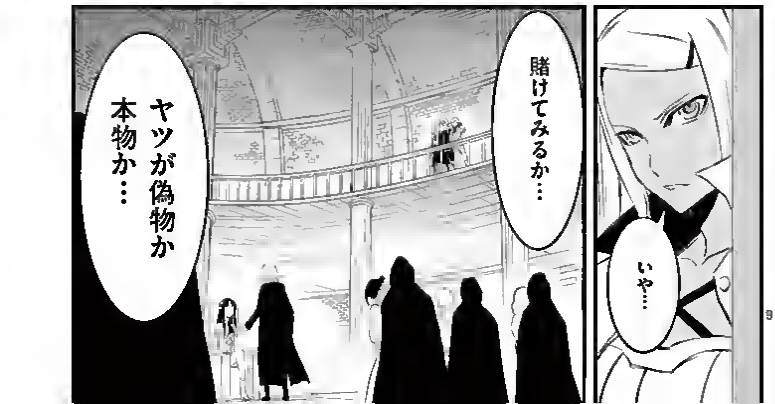

全ての人々が平等で
争いのない世界を
目指すために――

そのために人々から
不要なものを
削り取ろうと――

それで大量殺人を始めたというのですか!?
でも、孤児院の子ども達は!?
貴方が子ども達に向ける愛情に嘘偽りはなかったー
ええ、愛してますよ。あの子達もいずれ救うつもりです。
ただ、まだその時ではありません。
一番美しい姿で救ってあげた方が彼らも幸せでしょう?
貴方もそうです。
ずっと成長するのを待っておりました。
でも…貴方は特別です。
まさかこれほどまでに魅力的に成長してくれるとは思っても見ませんでした。
私はね…
貴方に恋をしてしまったのですよ!
恋…!?


ち…
多すぎる…


オオオオオ
奥には悪魔までいるな…
姫様が最優先だ。
多少の犠牲者が出るのはやむを得ん。

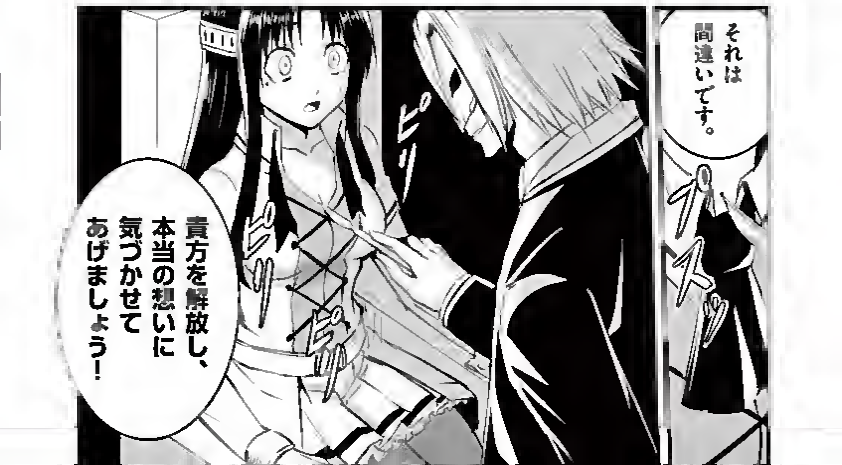

賭けてみるか…
いや…
ヤツが偽物か本物か…

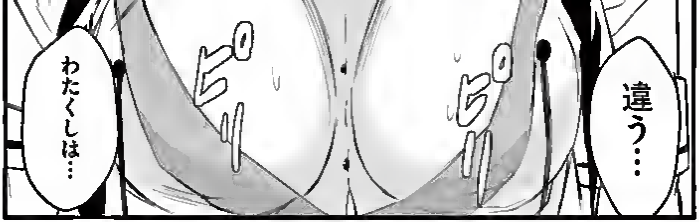
ねちょ～
本当に大丈夫なんだろうな。
うむ。
術者の意識を一瞬でも飛ばすことができれば、屍体のコントロールは奪える。
じゃあ、しっかりつかまってろよ！
よっしゃ！

ここはかつて王家の儀式に使われた広間だそうですね。
一人が結ばれるにふさわしい場所とは思いませんか！
結ばれる!?
何を言ってるのですか!?
今日の儀式は、我々の結婚式でもあるのです。
貴方の想いも気づいてましたよ？
我々はついに国王が定めた運命から解放され、愛を成就するのです！

嫌です！
確かに わたくしは
貴方のことを
信頼しておりました！
貴方のことを
尊敬して
おりました！
でも
わたくしは、
貴方に恋慕の感情を
抱いたことは
一度としてありません！

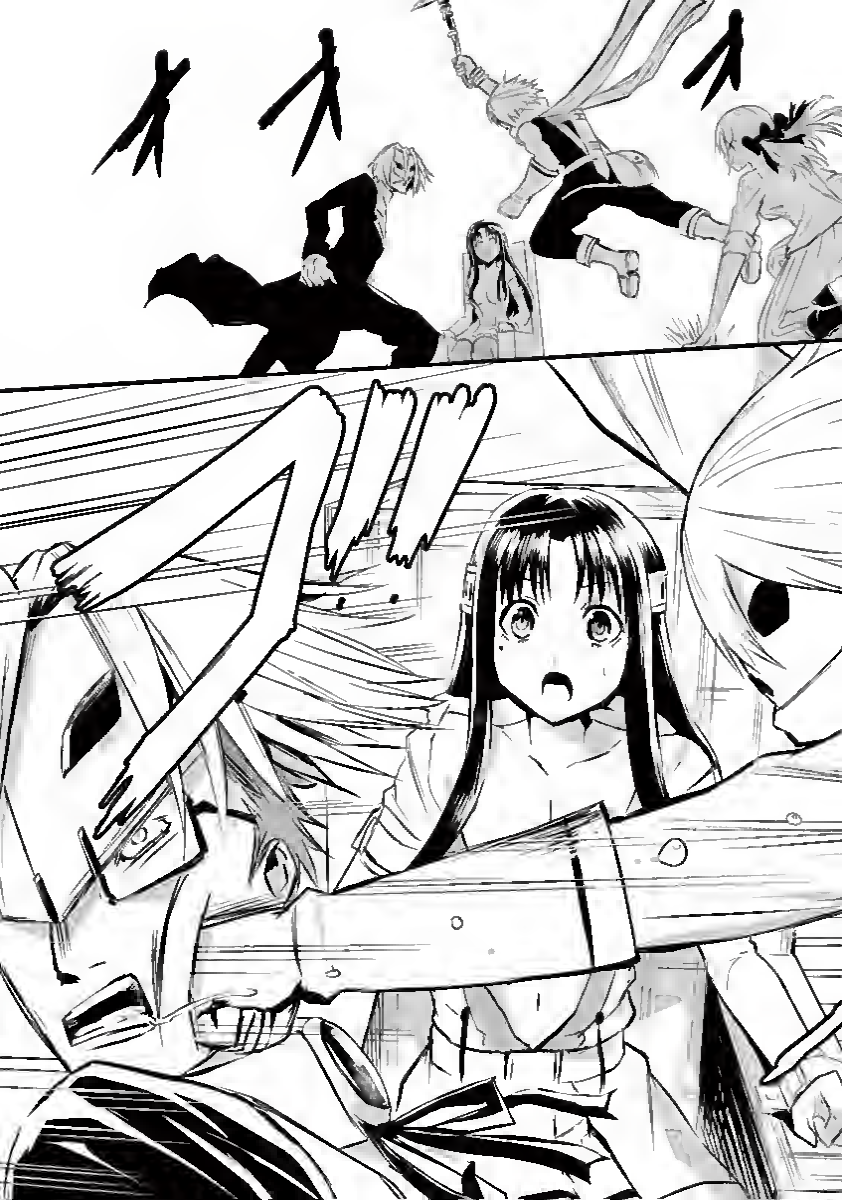
……
私を
愛して
いないと？


それは
間違いです。
貴方を解放し、
本当の想いに
気づかせて
あげましょう！


違う…
わたくしは…

ああ…
どうして
最期にあの人の
ことなんか…
待ちな！

返してもらうぜ！
そいつは俺の
花嫁なんでな!!



え…？
ブラーン
ゴッ
ドーン
あー、
すっきりした！
いやあああ!!
ブラーン

第21話▶地下墓地
勇者…
様…
ガシャン
ガシャン
ガシャン
見捨てないって言っただろ。
それとトウカだ。
トウカ・スコット。
ありがとう…ございます…
トウカさん…
ドドドドドドドド

あいつの首は確かにはねたはず…
何が、どうなってるのです…!?
クソ…私の骸骨たち！
あいつらを捕まえなさい！
……
所有権は頂いたぞ。
なぜ！
なぜ反応しないのです!?
ネクロマンサー
屍術師！

さて、
テメーの悪行は
ユナに聞いたぜ。
覚悟はできてんだろうな。

！
その仮面に触れるな！
その透視の魔晶石は我が一族の家宝！
偽者の勇者が触れていいものでは
透視だと？
ハッ！

救うだとかわけわかんねーこと言ってごまかしてよ。
結局、他人の骨をのぞいて特殊性癖に目覚めた結果の凶行ってわけかよ。
この 変態クズ野郎！

アンリ…
アイン・トグラスだな。
なるほどな。
アイン・トグラス！
すごい！すごいぞ！
俺の観力でもこれだけ透視できる！
やると思ったわよ！変態クズ野郎！

ニク…
ゴチソウ…
ドウナッテル…
これもギシキなのカ？
さあ！こっちだ！
早く逃げろ！
ニク！
ニクが逃げるゾ！
悪魔！
こんなに濡れていやがったのかよ！
リーランド！

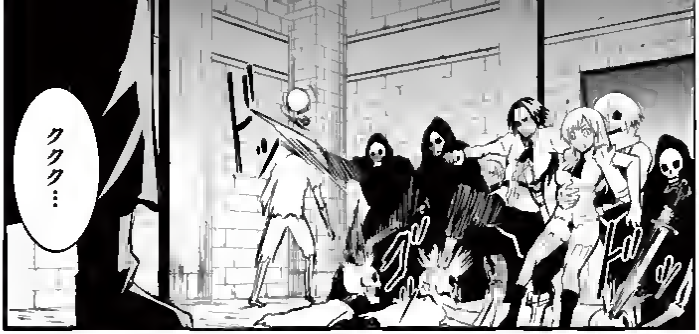
ここは私一人で十分だ！
貴様らはリーランドを追え！
ハイ！
ハイ！

クソ…
こんなところで終わってたまるか！
私はもっと救わねばならないんだ！
!?

肉体強化！！
アイアン・レンデル

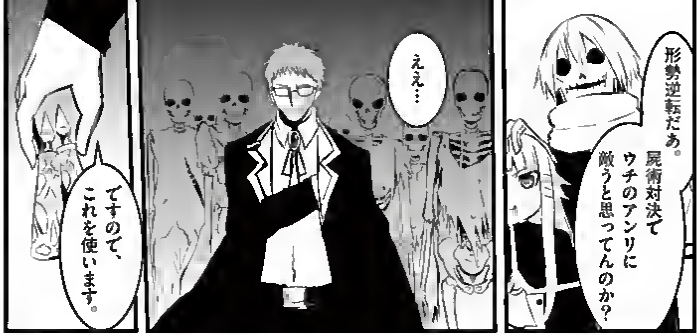
捕まえたわ！
もう逃がさないわよ！
いいや、逃げ切りました。
!?

ちょっと……！
何…!?
いやあああッ!!
ユナの悲鳴…!!
おい！
大丈夫か！
イヤァアアア
奇跡…!!
助けなさいよッ！


ククク…

ここは3年前の
犠牲者を埋葬した
地下墓地でしてね。

これで
形勢は逆転です。


形勢逆転だぁ。
屍術対決で
ウチのアンリに
敵うと思ってんのか？
ええ…
ですので、
これを使います。

ドゴ
ドゴ
ドゴ
ソーマの雫…!!

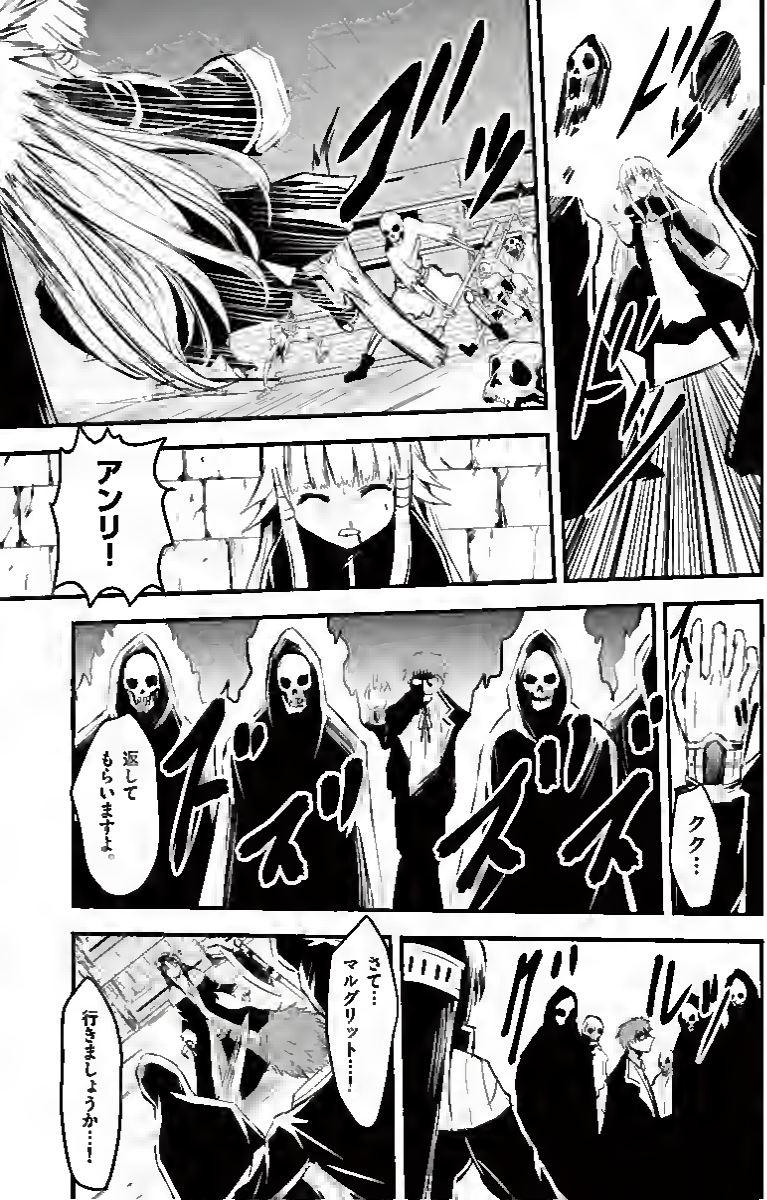
いけません！
そんなに
たくさん
服用しては！

ええ。
精神も肉体も
膨大な魔力に
耐え切れず、
ボロボロに
なるでしょう。
クク…
敵対しても尚、
私の身を
案じる優しさ…
やはり貴方だけは
手に入れなければ
なりません。

ここが
私の正念場！
なんとしてでも、
ここを乗り越え
理想を実現させる！

〝アイン・サイル〟！
まずは武器です！

オオオオオオ
頭を狙うのだ！
頭を破壊すれば二度と再生できん！
アンリちゃん！スケルトンに肉体強化を！
うむ！
姫様！剣を！
はい！
うおおおおお！
!?
・アイン・ロサピス・・・
硬化の魔術です。

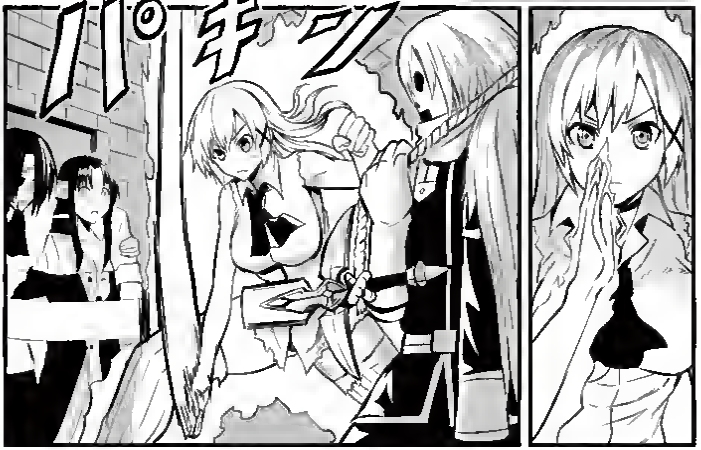

アンリ！
返してもらいますよ。
ククク…
さて…マルグリット…！
行きましょうか…！！

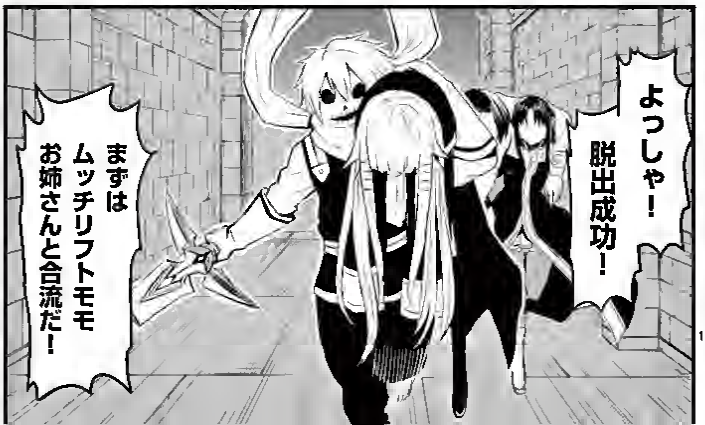
もう私は王都に戻れぬ身…
ですが、
貴方と共に
歩めぬ未来など
考えられません！
貴方だけは連れて行く！

アイザック！
アイザック！
これで良いのです…
ずっと私は姫様の意思を束縛し
苦しめてきた…
ですが、
ジーロー
これで枷は外れます…
姫様は逃げて、
自らの思うがままに生きるのです…
服部野郎！

カッコつけてるとこ悪いが…
邪魔するぜ！
ズ
オッ
壁!!
形状変化(けいじょうへんか)！
!?
消えた!?
オオオオオ

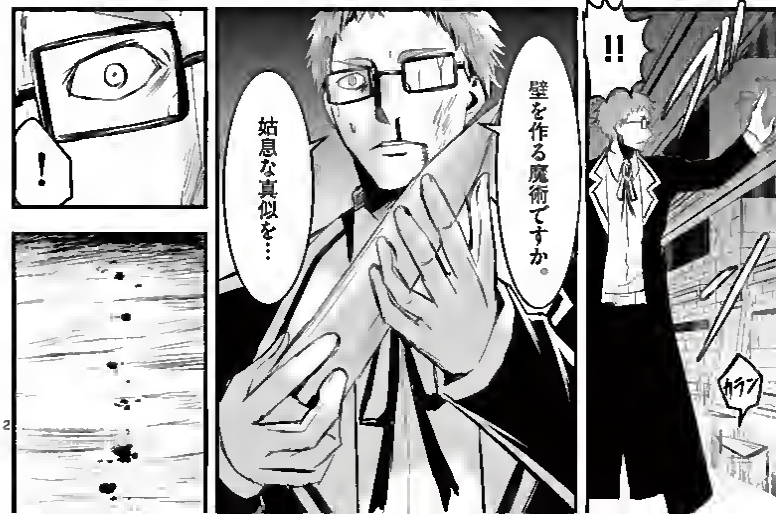
第22話▶体液





!!
クソ…
広間への通路が……！
あのお姉さんと
悪魔の戦闘が原因か…！
こっちからでも
外に出られるみたい！
大丈夫よ！

…


!
!!
壁を作る魔術ですか。
姑息な真似を…
カラン

いやはや…
詰めが甘いですねえ。

ここは…
私達が野宿してた山ね…

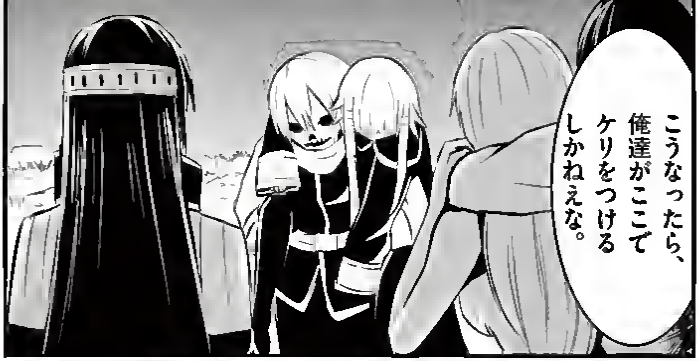
どうする…
このまま王都へ向かうの？

待ってください！
それでは王都の民まで巻き込んでしまいます！
じゃあどうすんだよ…
もうすぐあいつらも追ってくるぞ……！

……あの人の何よりの狙いはわたくしです…
わたくしが囮になっているスキに、みなさんで救援を呼んできてください！

しゃあねえ…

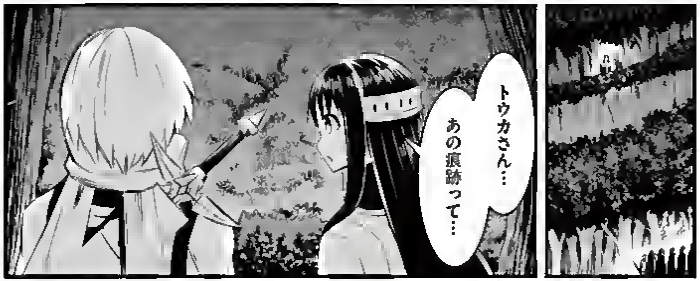
バカかテメエは！
眼帯野郎の最期の言葉を忘れちまったのか！
そうよ、この人が誰のために犠牲になったのかわかってるの？
いや、まだ…死んでないんだが


こうなったら、
俺達がここで
ケリをつける
しかねえな。

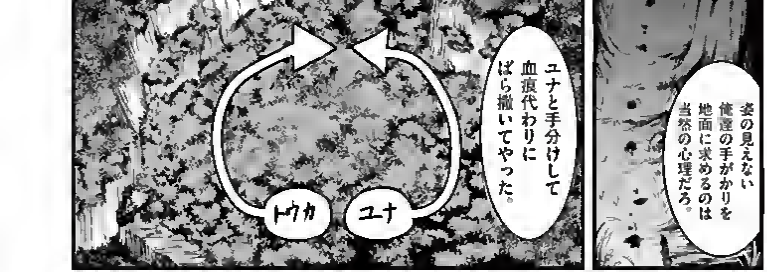
まずは作戦を練る
時間を稼ぐ。
ちょっと
待ってろ。

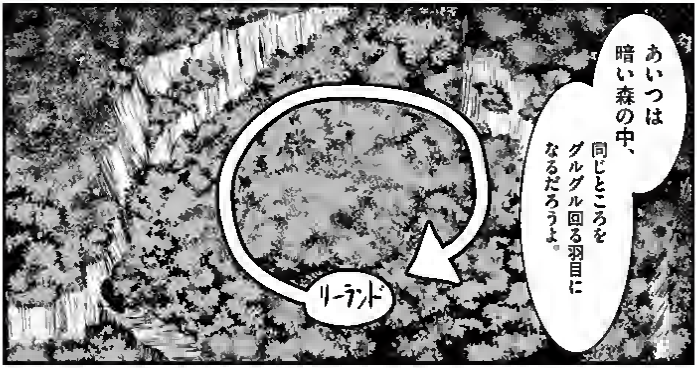
痕跡は森の奥…

ならばこちらですね。
あの優しいマルグリットが
アイザックを
見捨てるわけがありません！
ククッ…
逃げられませんよ。
私には、貴方の思考が
手に取るように
わかりますから。

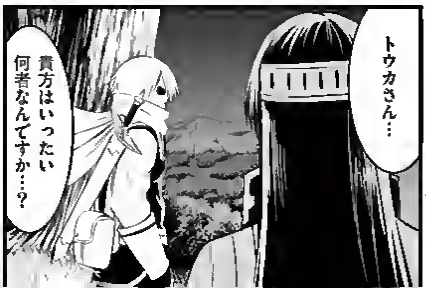

トウカさん…
あの痕跡って…

ああ、
俺が
絵具替わりに使った、
七色山ぶどうだ。


姿の見えない
術者の手がかりを
地面に求めるのは
当然の心理だろ。
ユナと手分けして
血痕代わりに
ばら撒いてやった。
トウカ
ユナ


あいつは
暗い森の中、
同じところを
グルグル回る羽目に
なるだろうよ。
リーランド

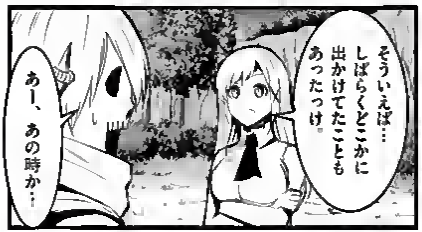
すごい…
あの状況から
逃げ延びることが
できるなんて…


トウカさん…
貴方はいったい
何者なんですか…?

それは私も
気になっていた…
アンリちゃん!

ヒュオ
オオオ
勇者を超える
実力っぷり…
何か理由が
あるのではないか…？
カイル殿と
戦った時も
そうだ…

フッ…
実は俺は
伝説の冒険者…
ただの
自堕落な
農夫よ。


そういえば…
しばらくどこかに
出かけてたことも
あったっけ。
あー、あの時か…

ちょっとユナ！
せっかく皆の尊敬を
集めるチャンスなのに！
幼いころから
知ってるけど
尊敬するだけ無駄。
ただずる賢い
だけ。
待て！
いくらユナでも
俺のすべてを
知ってるわけじゃ
ねーだろ！

あれは地獄の門が開く前…
この国と、北の大国アラードが
争ってた時期だったな…

クソ親父が
火事場泥棒するために、
俺とお袋連れて
戦地に向かってよ。

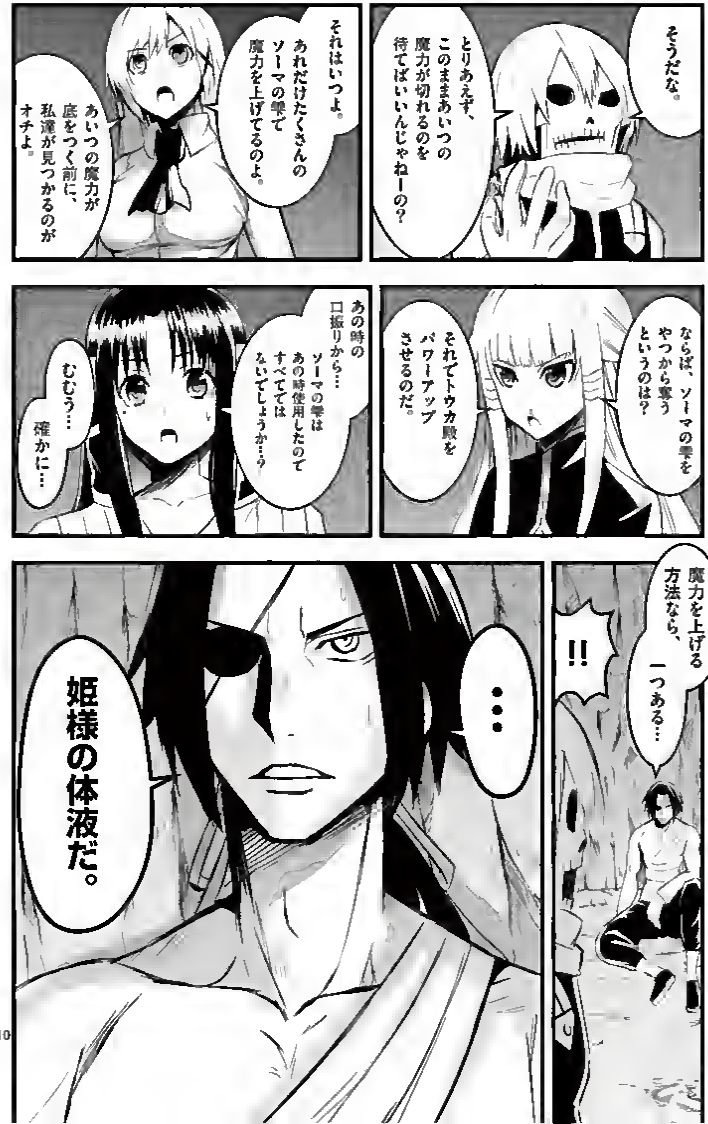
想像以上に戦火が激しく、
結果、お袋は死に
親父も行方知れず――

ヴィィィィィ
ドン
ヴォン
一人残された俺は
逃げ隠れしながら、
一年以上かけて故郷まで
戻ったっけな。

確かにあの時の
経験は
生かされてるかも…
ってうお！

トウカさん…
そんなつらい過去が
あったのですね……！
トウカ殿！
もう一人じゃ
ないぞ！
ずっと私が
そばにいて
やるからな！

二人とも…
あの…
盛り上がってるとこ
悪いけど、いい加減
本題に戻るわよ。


そうだな。
とりあえず、このままあいつの魔力が切れるのを待てばいいんじゃねーの？
それはいつよ。あれだけたくさんのソーマの雫で魔力を上げてるのよ。
あいつの魔力が底をつく前に、私達が見つかるのがオチよ。
ならば、ソーマの雫をやつから奪うというのは？
それでトウカ殿をパワーアップさせるのだ。
あの時の口振りから…ソーマの雫はあの時使用したのですべてではないでしょうか…？
むむう…確かに…
魔力を上げる方法なら、一つある…
!!
…
姫様の体液だ。

たい…
えき…？
魔漏症は
体液が体外に
排出される際に、
脳が誤った信号を出し
魔力まで
排出してしまう病――
結婚から
排出された体液には、
高濃度の魔力が
含まれているはずだ。
それこそ
ソーマの聖とは
比べものにならない
ほどのな。
ただし、あくまで
生理現象として排出された
体液にしか
魔力は含まれない。
たとえば
皮膚を切って
血液を出したり、
唾液を自分の意思で
分泌させても駄目だ。
ドロッ
ペッ
な…
なるほど…
じゃあ
具体的には…

汗、
涙、
鼻水…
そして
尿だ！

よ、よし！
その中では涙が一番マシだな！
ほら！
マルグリット！
泣け！
わめけ！
そして俺に飲ませろ！
む…
無理です！
急に涙なんて流せません！
わかった！
ここは一つ、俺が感動的な話をしてやるぜ！

むかしむかしあるところにおじいさんとおばあさんがいました。
おじいさんは山へ芝刈りに、
おばあさんは川へ洗濯をしに行きました。
すべては家でくつろぐ息子を養っていくために――
働け！息子！

…？
クソ…泣いてないだと!?
泣けるか！そんな話！

ご、ごめんなさい…
ほ、本当に感動的な話だとは思いますが…
わたくし…ここ10年、一度も涙を流したことがなくて…！
すべて私のせいだ…私の厳しい教育のせいで…
アイザックは何も悪くはありません…！
すべてはわたくしの意志です！
…
いや、私が悪い！
わたくしが！
私だ！

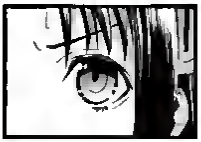
よし！
こうなったら仕方ねえ！
へ？
汗でガマンしてやる！

ほれ！
ペロペロさせろ！
ほれ！
きゃあああ！
ち、近寄らないでください！
うわー！
本気でドン引きするのやめて！
ここは一つ私の鼻水で試してみるのはどうだ！
なぜそうなる！

それは絶対にイヤです！
このド変態！
いやー俺も嫌なんだけど！
でも、他に倒す方法ねえならやるしかねえだろー

クソ…
ならば尿か…

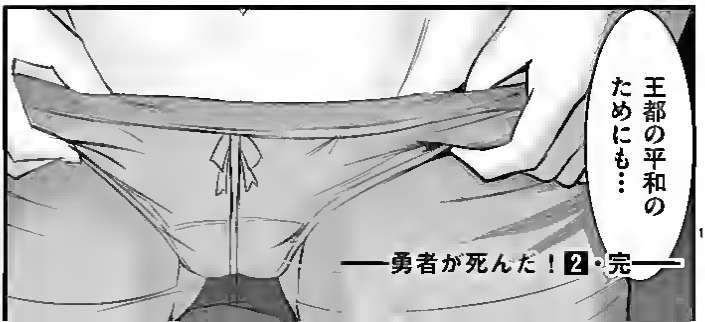
確かに、量を考えてもそれがベストだろう。
アイザックまで！


トウカさん…

横になって、目を閉じてください。

……わかりました。

目は閉じれねーけどな。
骨だから。
はぐあッ！

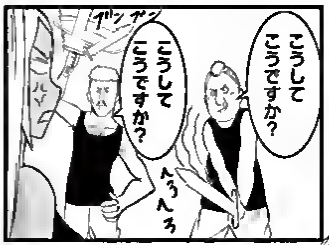


——勇者が死んだ！2・完——

ファロム騎士団

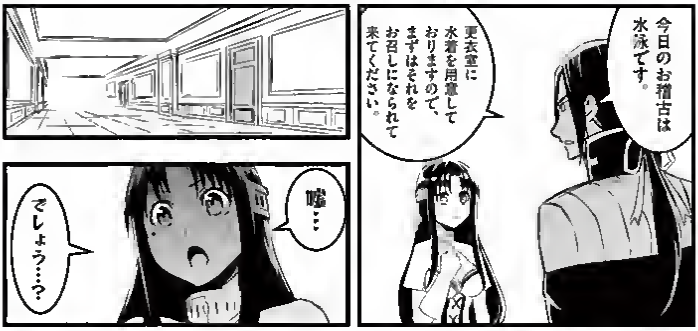
騎士団の稽古は厳しい。
うわぁ！
ドッ

こういう時はこうしてこうだ。
ムニーン
おお！
ブン


こうしてこうですか？
こうしてこうですか？
ムニムニ
ブン

どうして出来ないんだ！
今日は出来るまで徹底的に指導するからな！
まずはお前からだ！
ムニーン
ひゃほーい！
いつも深夜まで続く。

おまけ


今日のお稽古は水泳です。
更衣室に水着を用意しておりますので、まずはそれをお召しになられて来てください。
嘘…
でしょう…？

下…
だけ…？

2

サイズも違う…
もしかして何か手違いでも…
いえ…
もうすでにアイザックの授業は始まっている。
この水着をいかに王女らしくエレガントに着こなすか…！
それがアイザックの課した試練…ッ！

3

勇者が死んだ！②

裏少年サンデーコミックス

ISBN978-4-09-126434-3

2015年9月16日初版第1刷発行

著者　スバルイチ
©Subaruichi 2015
発行者　佐上靖之
印刷所　図書印刷株式会社

Printed in Japan

「裏サンデー」2015年3月3日配信分～6月9日配信分掲載作品
連載担当／石橋和章／白水美咲
単行本編集責任／縄田正樹
単行本編集／白水美咲／宗像千華（アイプロダクション）

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋二の三の一
TEL 編集03（3230）5480
販売03（5281）3556
株式会社小学館

●造本には十分注意しておりますが、印刷、製本など製造上の不備がございましたら「制作局コールセンター」（フリーダイヤル 0120-336-082）にご連絡ください。
（電話受付は、土・日・祝休日を除く 9:30 ～ 17:30）
●本書の一部または全部を無断で複製、転載、複写（コピー）、スキャン、デジタル化、上演、放送等をすることは、著作権法上での例外を除き禁じられています。代行業者等の第二者による本書の電子的複製も認められておりません。